

## 重要なお知らせ

### 警告

この製品の操作，および保守，点検，を行うときは，必ずこの取扱説明書に従ってください。

この取扱説明書に従わなかったために，あるいは誤用や無断改造がなされたために，けがを負ったり損害が発生したとしても，マルマス機械株式会社およびその販売会社は一切その責任を負いません。

- 1) 近年，農業機械は，高度化，複雑化に伴ないさまざまな危険が潜在する傾向にあります。この機械の取扱上の危険についても，すべての状況を予測することはできません。そのためこの取扱説明書の記載事項や機械に表示してある注意事項はすべての危険を想定しているわけではありません。  
従って，機械の操作，または日常の点検を行う場合は，この取扱説明書の記載及び機体本体に表示されている事項に限らず，安全対策に関しては十分な配慮が必要です。
- 2) この取扱説明書について，質問やより詳しい情報が必要な場合は当社又は購入店へお問い合わせください。
- 3) この取扱説明書において，万一， $\text{H}^\circ$  - シ<sup>レ</sup> の $\langle$ 乱丁 $\rangle$ や $\langle$ 落丁 $\rangle$ などが，あった場合はお取り替えいたしますので，お手数ですが当社又は購入店までご連絡ください。

### 警告

この機械の操作及び保守・点検を行うときは，必ずこの取扱い説明書の指示，警告に従って下さい。もし，疑問点または不明な箇所があれば当社または購入店に問い合わせ，回答を得てから作業を進めて下さい。

# 目 次

## 1. 危険防止のために

- 1-1 警告用語の種類と意味-----1頁
- 1-2 本機の使用にあたっての諸注意-----2頁
- 1-3 警告ラベル、注意ラベルの貼付位置(1)-----4頁
- 1-4 警告ラベル、注意ラベルの貼付位置(2)-----5頁
- 1-5 警告ラベルの貼付位置(本機内外部)と説明(3)-----6頁

## 2. ご使用になるまえに

- 2-1 各部の名称-----7頁
- 2-2 機械的及び、電氣的仕様の確認-----8頁
- 2-3 運転前の準備、機械の組立-----9頁
- 2-4 粳すり精米機の据え付けについて-----9項
- 2-5 粳、玄米の品質と特性について-----10頁
- 2-6 操作パネルの表示-----11頁
- 2-7 操作パネルの機能説明-----12頁

## 3. 運転の仕方

- 3-1 粳すり・精米切替運転の準備と運転(操作手順)-----13頁
- 3-2 粳すりだけを行う運転の仕方-----15頁
- 3-3 精米だけを行う運転の仕方-----16頁
- 3-4 粳すり・精米同時運転の仕方-----17頁
- 3-5 白米を搗き直す運転の仕方-----19頁
- 3-6 運転を一時停止する時-----19頁
- 3-7 運転途中で機械が停止した場合の再始動の仕方-----20頁

## 4. 精米機の主要部品

- 4-1 精米機主要部品-----21頁

## 5. 各部の調整、点検、分解、掃除

- 5-1 精米機の白度の調節-----22頁
- 5-2 金網関係の掃除分解の方法-----23頁
- 5-3 脱フ°機関係の分解、掃除の方法-----24頁
- 5-4 その他の掃除について-----25頁
- 5-5 その他の操作及び調節(1)-----27頁
- 5-6 その他の操作及び調節(2)-----28頁
- 5-7 Vベルトとホースのサイズ°について-----29頁
- 5-8 電気配線図の一覧-----30頁

## 6. 不調な時の原因と対策

- 6-1 不調な時の原因と対策一覧-----31頁

## 7. オフ°ション部品について-----33頁




# 1. 危険防止のために

## 1-1. 警告用語の種類と意味

\*

- ◎ 危険防止のために、本機の危険な箇所には警告ラベルを貼付してあります。この警告ラベルでは、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって次の3段階に分類しています。

以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従って下さい。

警告用語	意味
	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う場合に使用されます。
	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合又は原料や製品に不具合が生じる場合に使用されます。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。（ラベルは有償です）



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を設置する際は、準備作業を必ず取扱説明書通りに実施し本機の回りには決して過熱性の物・電気的な高容量物・コンプレッサー等のノイズ発生物などの危険な物は置かないようにして下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。



警告： 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。



警告： 当社に無断で本機を改造したり、取り付けられている物を取り外したり加工をほどこし本機と関係のない物を取り付けたりすることは絶対にしないで下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。



警告： 本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者又は電気工事資格店にて本機の手取説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施すること。  
自分で勝手に工事はなさないで下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。  
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合している事を確認後本機を使用して下さい。





警告： 使用頻度に合わせて本機の点検・掃除は必ず実施して下さい。  
本機の性能を充分発揮出来ず安全上支障をきたすことがあります。  
又、点検・掃除を行う場合は必ず電源プラグを抜いて作業して下さい。  
電源プラグの抜き差しにおいては必ずプラグ本体を手で持って行って下さい。  
ケーブル自身を引っばらないで下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。





警告： 本機の御使用后、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。


注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。  
よく熟読され、必ず厳守して下さい。


 注意： 本機の御使用後、及び保管の際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
感電・漏電・火災の原因となります。


 注意： 水のかかる場所や火気の近くでは使用しないで下さい。  
感電・漏電・火災の原因となります。


 注意： 電源プラグを抜く場合は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いて  
下さい。  
感電や発火する場合があります。


 警告： 改造はしないで下さい。修理技術者以外の人は分解や修理をしないで下さい。  
火災・感電・ケガの原因となります。


 警告： 本機を水につけたり、本機に水をかけたりしないで下さい。  
ショート・感電の恐れがあります。

 警告： 電源プラグの刃（プラグ先端）及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、  
よく拭き、ほこりを取り除いて下さい。  
火災の原因となります。

 警告： 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は本機を  
使用しないで下さい。  
感電・ショート・発火の原因となります。

 警告： 指定の電源以外では使用しないで下さい。  
火災・感電の原因となります。

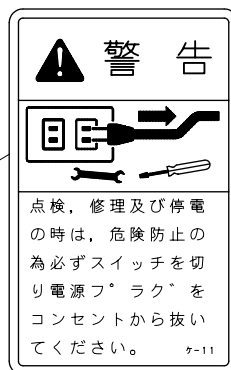
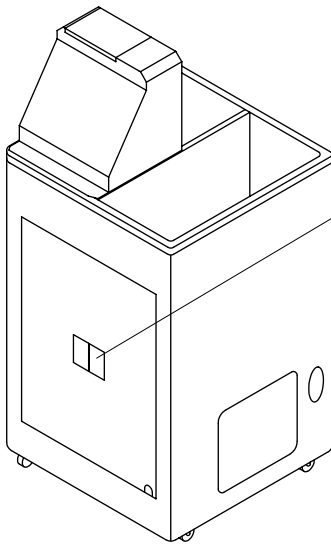
 警告： 電源コードを傷つけないで下さい。  
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、  
重たいものを載せたり、挟みこんだり、加工した場合は、電源コードが破損し、  
火災・感電の原因となります。

 警告： 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。  
感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

注意： 上記以外の注意点及び詳細は各作業内容に合わせて記載してあります。  
よく熟読され、必ず厳守して下さい。



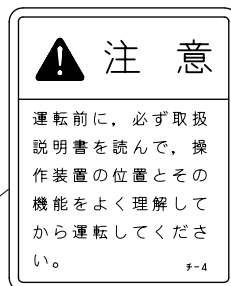
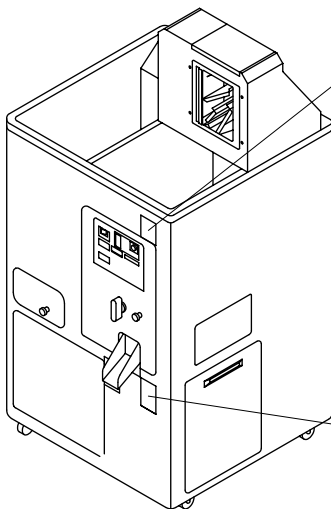
**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。  
守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。  
新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

点検、修理の際、本機伝動部・作動部が作動しているところらに接触するとケガをします。又停電が復旧した場合に、本機が急に作動したりして、思わぬ事故を招くことがありますので、点検、修理、及び停電の時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

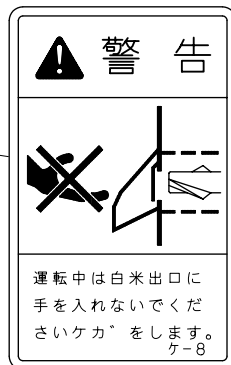
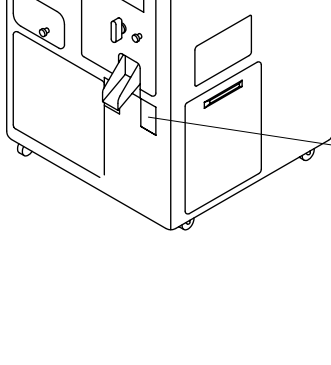
(注文コード 260-410-10)



ラベルの説明

運転前には取扱説明書を熟読し、本機の性能・機能を充分理解してから運転してください。  
本機の性能を充分発揮できず、安全上支障をきたすことがあります。

(注文コード 260-433-10)



ラベルの説明

運転中は絶対に米排出口から手を入れないで下さい。指に精米ロールの先端が接触しケガをする場合があります。掃除、点検など行う際は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

(注文コード 260-407-10)



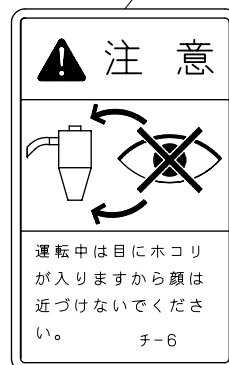
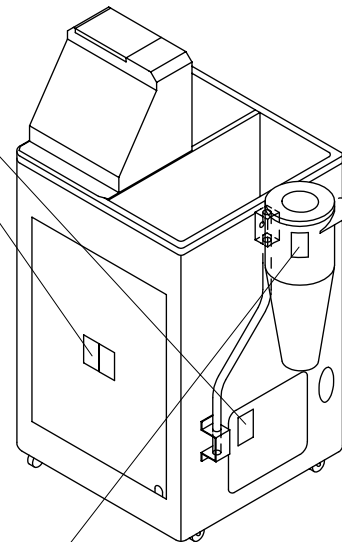
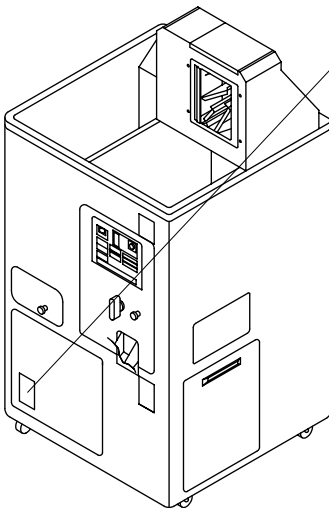
**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し同位置に貼り付けて下さい。新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

カバーを開けると、伝動部があります。運転中にこれらに手で直接接触すると、ケガをしますのでカバーを開ける時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

(注文コード 260-400-10)



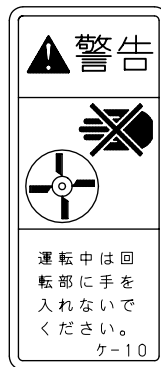
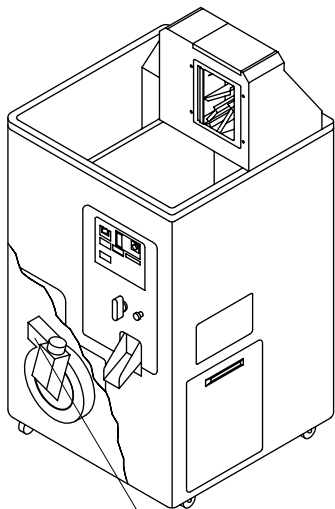
ラベルの説明

運転中にサイクロンをのぞきますと、目にゴミがはいり目をいためますので、運転中は絶対にのぞかないで下さい。

(注文コード 260-435-10)



**警告：** 危険防止のために、危険な箇所には危険・警告・注意の各ラベルが添付してあります。  
 このラベルの注意書きを必ず守って作業を行って下さい。守らずに作業をしますとケガをする場合があります。  
 又、各ラベルがはがれたり、読みづらくなった場合は即座に新しいラベルと交換し、同位置に貼り付けて下さい。  
 新しいラベルは当社にて準備しております。



ラベルの説明

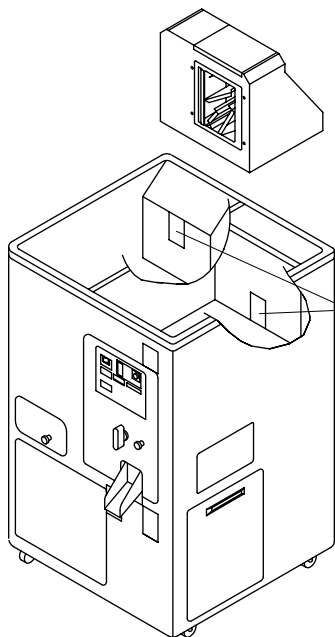
図示の吸引ファンセット内にはファンが収納されております。

運転中これに接触しますと大けがをします。

運転する場合は必ず吸引ファンフタを閉めて下さい。

又、点検・修理などで扉を開ける場合は必ず電源プラグを抜いて下さい。

（注文コード 260-409-10）



ラベルの説明

タンク内の下部には、回転部があります。運転中にこれらに、手で直接触るとケガをしますのでタンク内の掃除や、なんらかの理由で、手を入れる時は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

（注文コード 260-401-10）



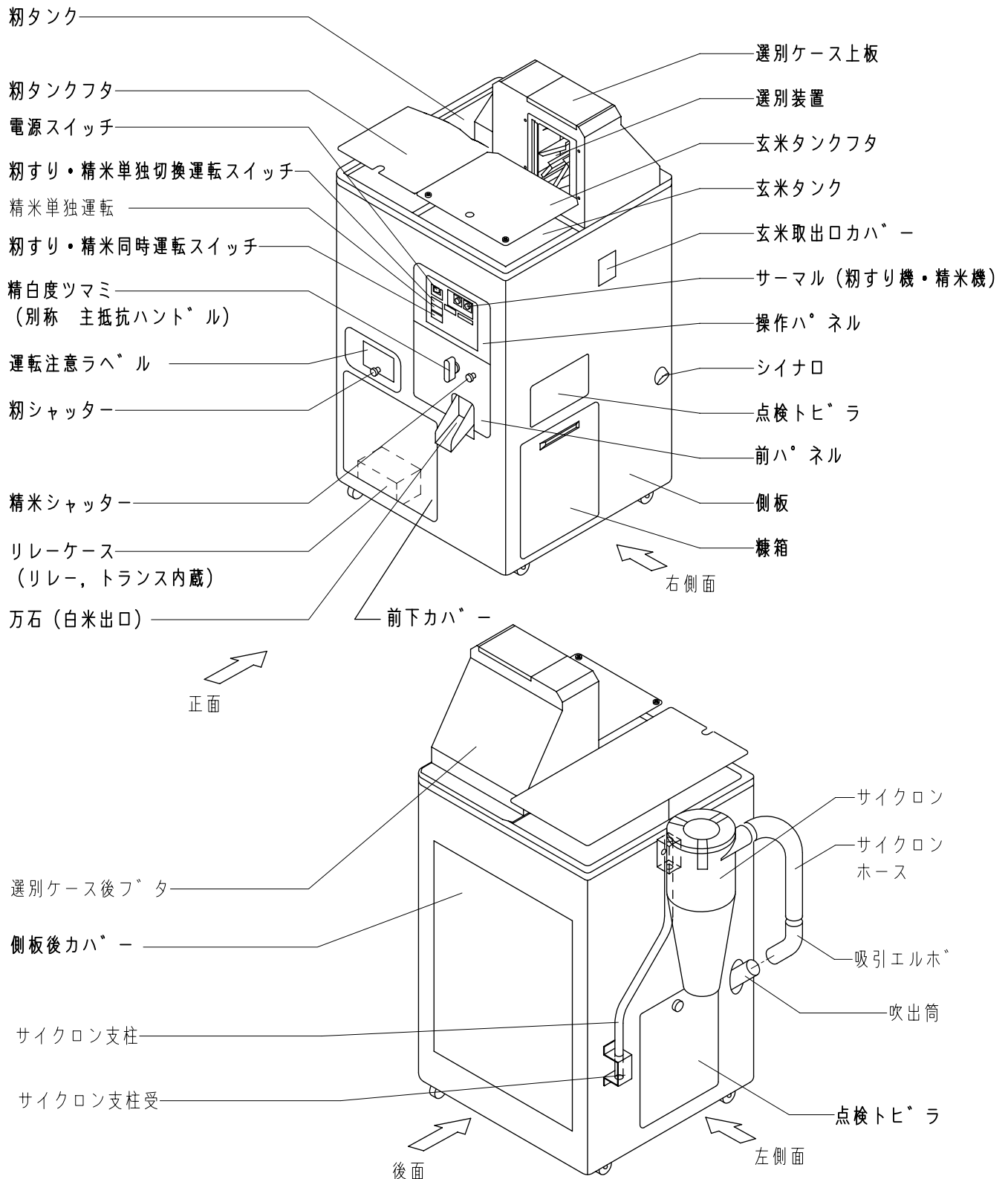
## 2. ご使用になるまえに

### 2-1. 各部の名称

\*



注意： ご使用の前には必ず取扱説明書を熟読され、本機の性能及び装置を充分理解した上でお取り扱い下さい。





警告： 本機を使用する場合の電気工事に関しては、電気工事資格者又は電気工事資格店にて配線は電気設備技術基準、内線規定及び電力会社の規定に従って下さい。  
又本機の取扱説明書内に記載されている基準を十分満たす工事を実施して下さい。  
自分で勝手に工事はなさないで下さい。  
本機に悪影響を与え安全上支障をきたすことがあります。  
又、既存の動力配線をお使いになる場合は本機の基準に適合している事を確認後本機を使用して下さい。

項目	機種	粳すり精米機 MM-700B (単相)	
粳タンク		25kg	
玄米タンク		20kg	
使用モーター	単相100V	粳すり機	0.25kW
		精米機	0.45kW
粳すり精米能力 (粳2斗)	単独運転	45~65分	
	同時運転	30~45分	
精米毎時能力		25~35kg/H	
粳すり能力 (粳2斗)		13~15分	
機体寸法		全長580mm	
		全幅560mm	
		全高895mm (選別装置含む1165mm)	
電源		単相100V	
ブレーカー		30A (注、電力側の設備容量)	
安全装置	粳すり機	過負荷保護ブレーカー	8.0A
	精米機	過負荷保護ブレーカー	10A

- (注) 1) 毎時能力は玄米の乾燥度合い、品種、米質、搗精時期などの諸要因により多少の変化があります。  
2) なお仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

単相モーターの出力と各設備の容量 (参考)				粳すり精米機 MM-700B (単相)					
モーター (kW)	電圧 (V)	開閉器 (A)	超過目盛 電流計 (A)	ブレーカー	配線最小太さ		配線最大長さ (m)	アース線最小径	
					直径mm	(mm <sup>2</sup> )		直径mm	(mm <sup>2</sup> )
0.75kW	単相100V	30A	15A	30A	1.6	(2.0)	8	2.0	3.5

- (注) 1) 電灯線への接続、タコアシ配線は絶対にしないで下さい。発熱、火災等の原因となります。  
2) 家庭用契約電力は20A以上が必要です。  
3) コードリールは使用しないで下さい。不調の原因となります。  
4) 電気容量の大きい他の電気製品との同時運転はしないで下さい。(掃除機、電熱器等)  
5) 電源は単相100Vを使用して下さい。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業するには身の回りには充分気を配り怪我をしないように注意して下さい。

#### ○付属品

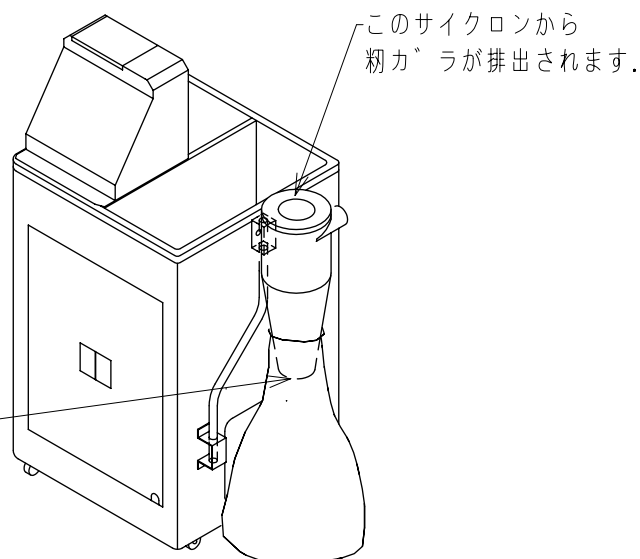
- サイクロンセット 1個
- サイクロン支柱 1個
- サイクロンホース 1個
- 吹出し筒 1個
- 吸引エルボ（塗装） 1個
- 粉ガラ袋 1個

※サイクロンと粉ガラ袋の取り付けは下図を参考にして下さい。

#### 注意

サイクロンの下端に粉ガラ袋をセットする時、袋が狭くならないようにサイクロン金具の上部にヒモで縛って下さい。

この位置が狭くならないようにする事。  
ネジで狭くなりますと、サイクロンの上部よりモミガラが吹き出します。



#### 2-4, 粉すり精米機の据え付けについて.

- 1) 設置場所は湿気の無いところで水、油等のかからない場所をえらんで下さい。
- 2) 機体が水平になるように設置してください。
- 3) 外部から振動の伝わらないところで、点検の容易なスペースのある場所を選定してください。

- 1) 粳はワラクス<sup>®</sup>等がない粳を使用して下さい。
- 2) 粳の水分は、14～16%程度のもので使用して下さい。  
(粳の水分が高い場合) →脱フ<sup>°</sup>率が低下し、精米機が詰まる原因になります。  
(粳の水分が低い場合) →脱フ<sup>°</sup>率が高くなるはありますが、碎米の原因になります。
- 3) 虫等が混入している粳、玄米等を精米された場合は精米中に精米機に詰まったり、運転不能の原因になりますから、抵抗を弱くして特に注意をして下さい。(2度搗で精米することをおすすめします。)
- 4) 未熟米が多い粳を使用した場合は、脱フ<sup>°</sup>率が悪くなり精米の途中で詰まる場合があります。未熟米が多い粳は使用しないようにして下さい。
- 5) 精米機で搗精するお米は玄米の性状、品種、乾燥度、新米古米、モチ米、くず米等それぞれ搗き方が異なります。
- 6) 玄米の乾燥度合に応じて抵抗のかけ方を加減して下さい。
- 7) 餅米は糠層が厚く搗きにくいので2度搗して下さい。一回め8.9分搗とし、二回めで仕上げして下さい。きれいに歩留りよくしあがります。
- 8) 新米が収穫されて1ヶ月程の間は特に搗きやすく抵抗目盛りを”0”に戻し、徐々にゆっくりと抵抗をかけて下さい。

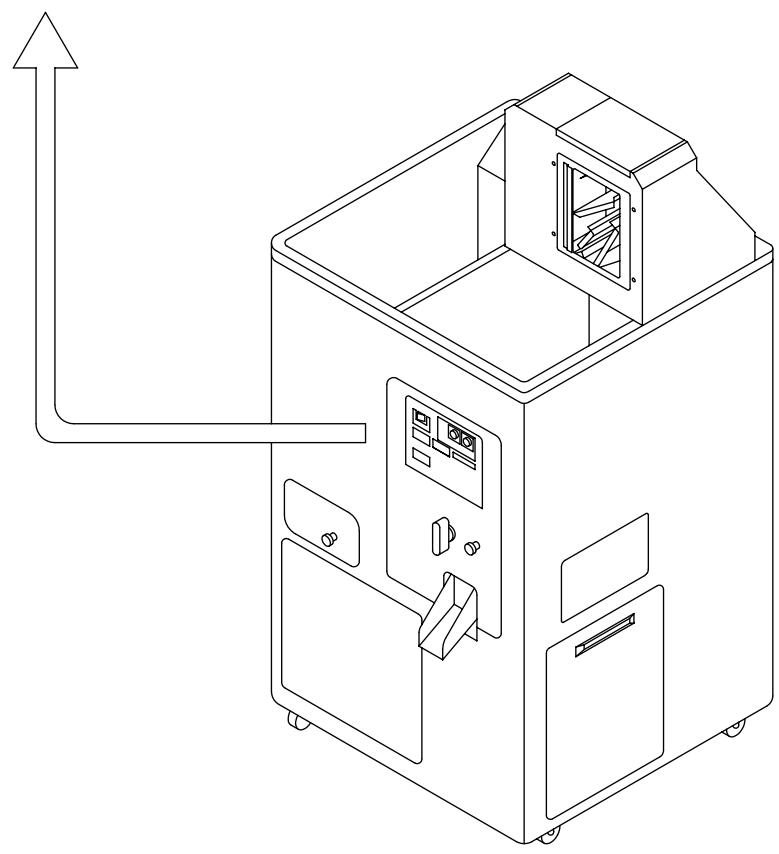
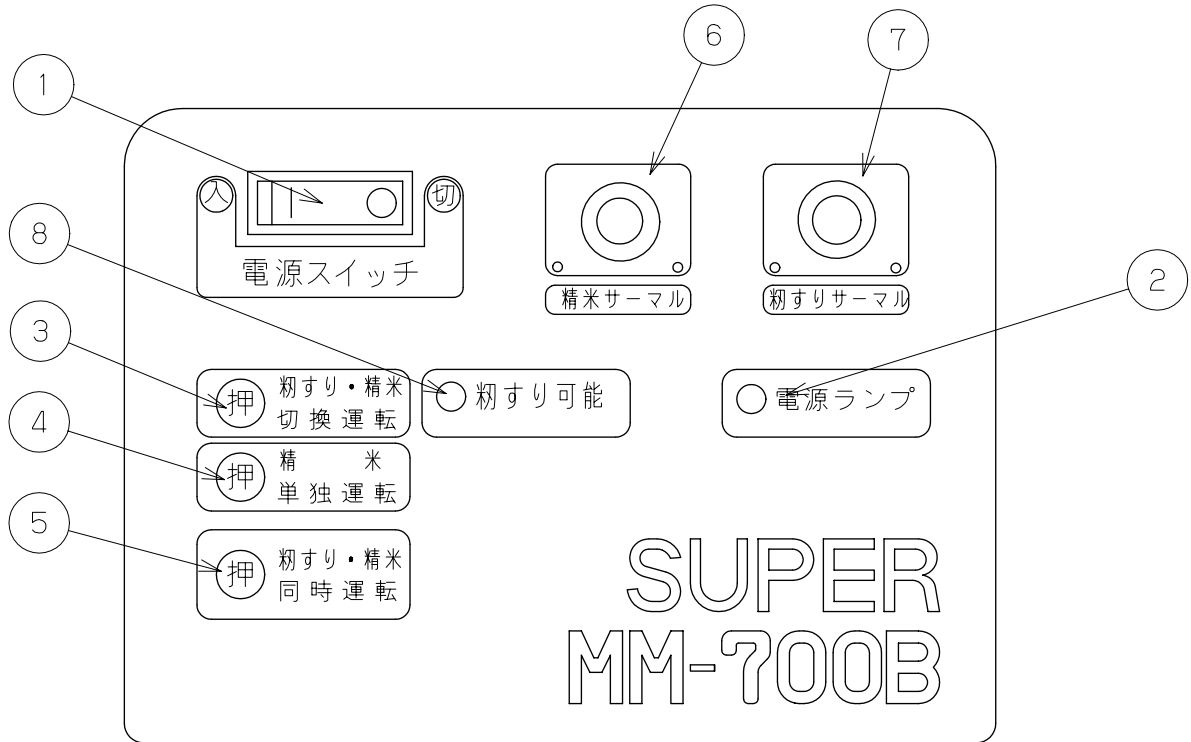
**注意**


※急に抵抗をかけたり抵抗が強過ぎると精米機内部(特に精白部の円筒や除糠金網部等)に膠着することがあります。

※実際の運転の仕方は、13頁より記載してあります。

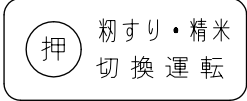


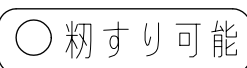
注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。



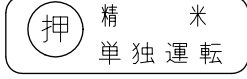
①  | 印を押す → 電源「入」  
○ 印を押す → 電源「切」

②  電源ランプ 緑ランプが点灯  
緑ランプが消灯

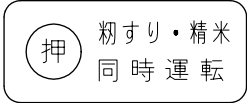
③  押 粉すり・精米  
切換運転

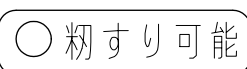
④ 押 印を押す → 粉すり機が始動します。  
約10秒後  
⑤  粉すり可能 緑ランプが点滅  
粉すり可能ランプ<sup>°</sup> が点滅したら、粉シャッターを引いて下さい。

粉がなくなると自動的に  
粉すり機が停止し、同時に精米機が始動します。  
玄米がなくなると約10秒後に精米機は停止します。

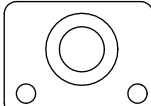
④  押 精米  
単独運転

⑤ 押 印を押す → 精米機が始動します。  
玄米がなくなると約10秒後に精米機は停止します。

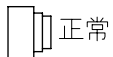
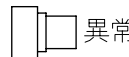
⑤  押 粉すり・精米  
同時運転

⑥ 押 印を押す → 粉すり機・精米機が始動します。  
約10秒後  
⑦  粉すり可能 緑ランプが点滅  
粉すり可能ランプ<sup>°</sup> が点滅したら、粉シャッターを引いて下さい。

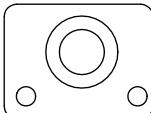
粉がなくなると自動的に粉すり機は停止します。  
玄米がなくなると約10秒後に精米機は停止します。

⑥  精米サーマル

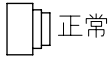
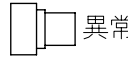
精米機モーターが過負荷状態になるとサーマルが作動します。

 正常  異常

- (サーマルが作動した時)
- ① 電源プラグを抜く
  - ② 原因を取り除く
  - ③ サーマルリセットボタンを押す  
(但し、3秒以上押し続けられないこと)

⑦  粉すりサーマル

粉すり機モーターが過負荷状態になるとサーマルが作動します。

 正常  異常

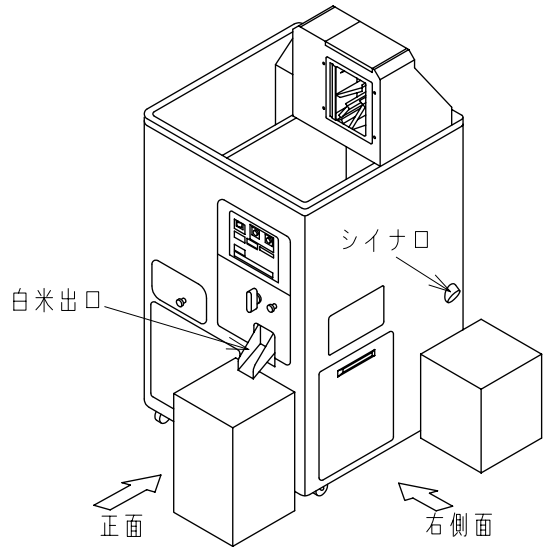
- (サーマルが作動した時)
- ① 電源プラグを抜く
  - ② 原因を取り除く
  - ③ サーマルリセットボタンを押す  
(但し、3秒以上押し続けられないこと)

# 3. 運転の仕方

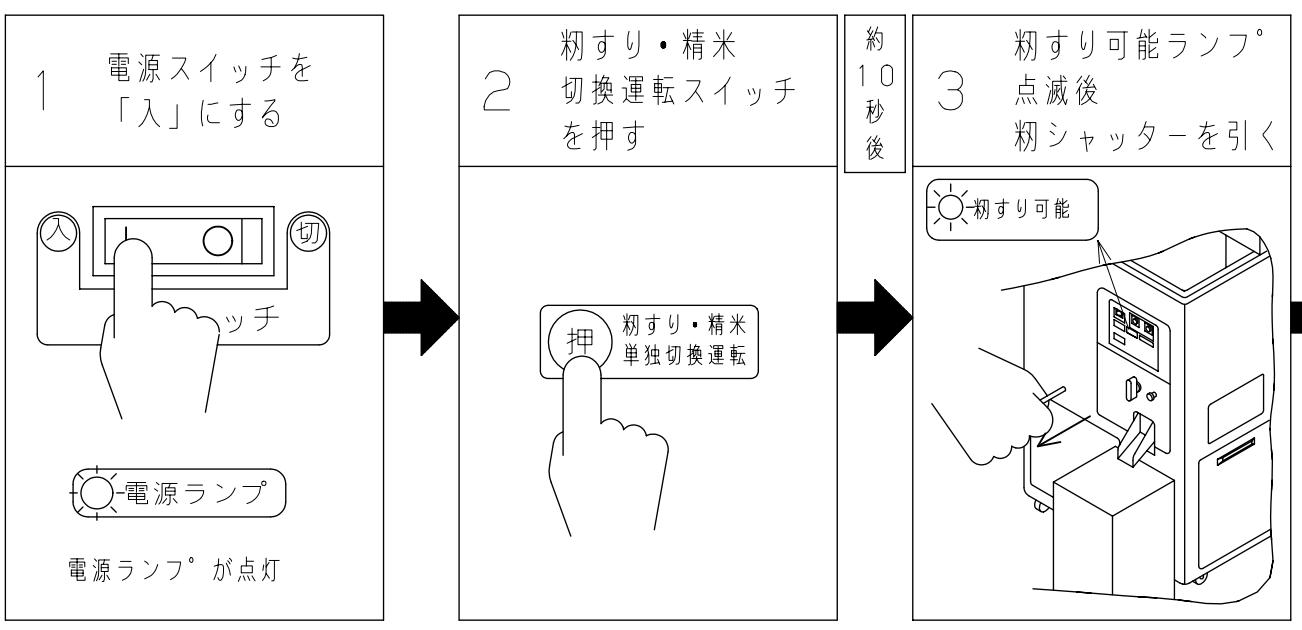
**注意：** 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。  
 作業するには身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

## 3-1. 粉すり・精米切替運転の準備と運転（操作手順） \*

- 準備
1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
  2. サイクロンに粉カ<sup>ラ</sup>袋を取りつける。
- 重要 ⇒
3. 粉、精米、両シャッターが閉まっているか確認する。  
開いている場合は、閉める。
  4. 粉を入れる。  
 （粉タンク容量は、25kgです。25kg以上入れないで下さい。）
  5. 白米出口、シイナロに適当な容器を設置する。
  6. 精白度ツمامミ（主抵抗ハンドル）を0（スタート）の位置にする。



### ○運転手順





重要

### < 注意 >

籾シャッターが閉じていないと、本機は作動しません。

籾すり作業を始める場合、必ず籾すり可能ランプが点滅してから籾シャッターを引いてください。

すぐに籾シャッターを引くと籾が詰まる事があります。

籾、玄米において、下記のものはいり、精米を行わないで下さい。

わらくずの多いもの。

穀象虫（こくぞうむし）が発生しているもの。

水分が17%を超えるもの、又は保冷庫から出してすぐのもの。

これらを投入すると故障の原因になります。

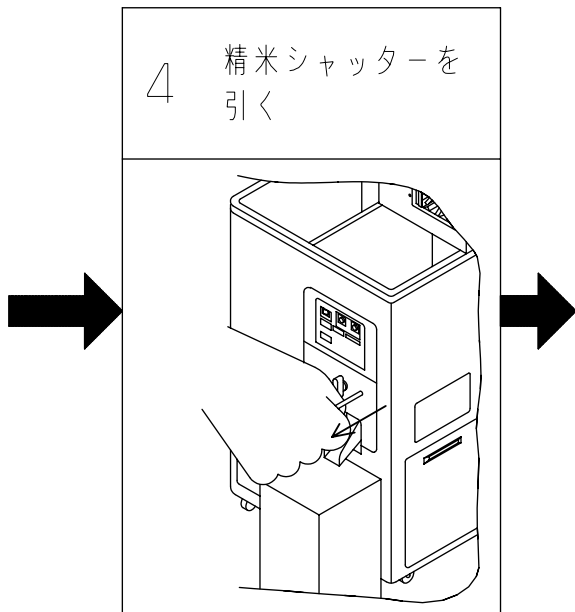
籾すり中に籾を追加する時は、籾でセンサーが隠れている状態で投入してください。

籾すり機が停止した状態で追加投入する場合、籾シャッターを閉じてから投入して下さい。

籾ガラ袋は、籾25kg分の容量です。

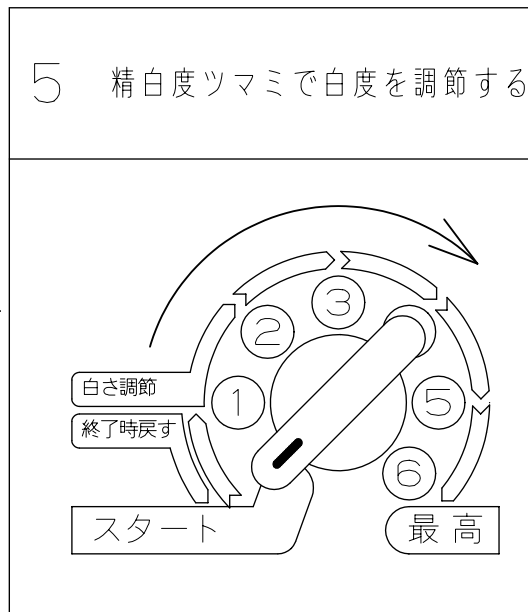
籾25kgごと、及び作業終了後には必ず籾ガラを排出して下さい。

糠箱は玄米20kgまでの容量ですので、20kg精米後及び作業終了後は必ず糠を排出して下さい。



精米シャッターは籾すり開始直後又は精米機が始動したらすぐに引いて下さい。

籾すりだけを行う場合は、精米シャッターを引かないで下さい。  
(15頁参照)



- 精白度ツマミは、ゆっくり回して下さい。
- 初めに玄米や半搗米が出ますので、玄米タンクに戻して下さい。

### 注意

籾すり・精米切替  
運転では、籾すりが終了し15秒後に精米機が始動しますが、精米シャッターを引かなかった場合、10秒で精米機は止まりますので注意して下さい。

籾タンクの籾がなくなって約15秒後に籾すり機が停止し精米機が始動します。  
玄米タンクの玄米がなくなって約10秒後に精米機が自動停止します。



重要

作業終了後

1. 籾、精米、両シャッターを押す（閉める）。
2. 籾ガラ袋、糠箱の後始末をする。
3. 機械の掃除をする。
4. 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく事。





注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業するには身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

### 3-2. 粉すりだけを行う運転の仕方

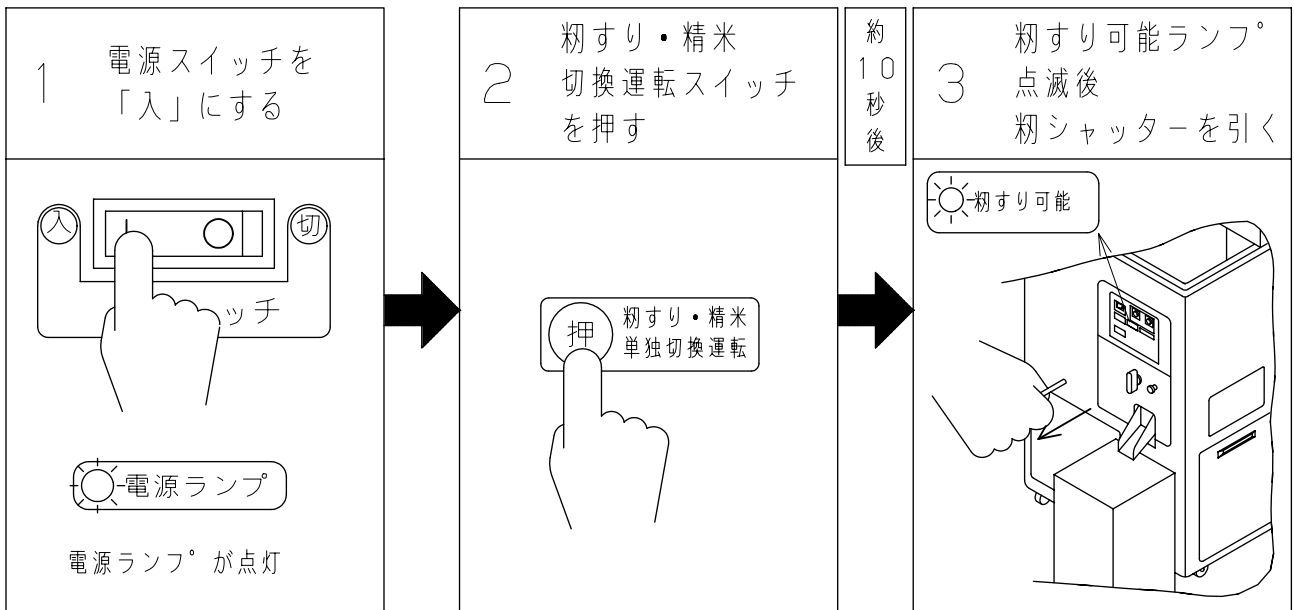
\*

#### ○準備

1. 取扱説明書13頁の○準備の1～4を参考にして作業をしてください。
2. シイナロに適当な容器を設置する。

注意 わらくずの多い粉、又は穀象虫が発生している粉を粉すりした場合、粉タンク内での粉の流れが悪くなり、故障の原因になります。このような粉は、わらくず等をよく取り除いてから使用して下さい。

#### ○運転手順



#### 重要 注意

粉シャッターが閉まっていないと本機は作動しません。

粉すり作業を始める場合、必ず粉すり可能ランプが点滅してから粉シャッターを引いてください。

すぐに粉シャッターを引くと粉が詰まる場合があります。

#### 作業終了後

1. 粉シャッターを閉めて下さい。
2. 電源スイッチ「切」にして下さい。
3. 粉カゝラ等の後始末をして下さい。  
(注意 粉カゝラ袋は粉25kg分の容量ですので必ず実施して下さい。)

尚、粉すりをした玄米を玄米タンクの中に長時間保管された場合、虫が発生したりネズミ等の被害がありますから、特に注意して下さい。

#### 脱フゝ米の再脱フゝについて

脱フゝ米の再脱フゝをされますと、砕米が増加したり、シイナロに約2割の再脱フゝ米が排出されます。注意をしてください。

粉すりだけを行う場合、機外に粉すりした玄米を排出する、別売専用部品として玄米取り出しシュートがございます。取扱説明書33頁をご覧ください。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

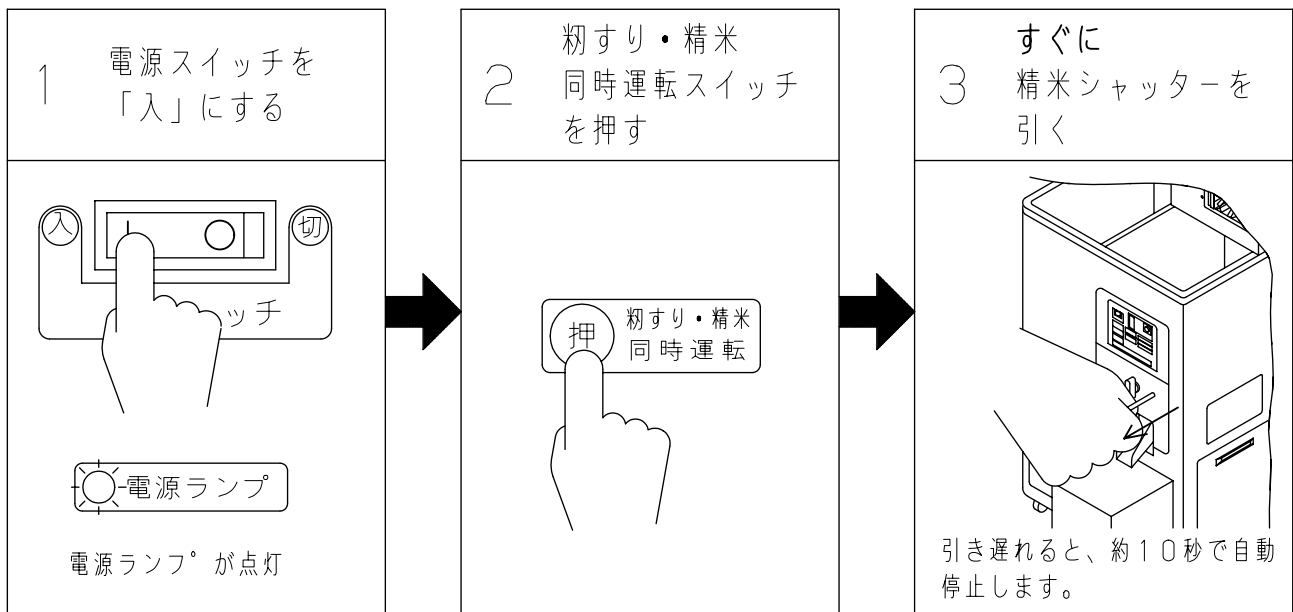
### 3-3. 精米だけを行う運転の仕方

\*

#### ○準備

1. 玄米タンクに玄米を入れる。(または、粳すりを終了した玄米が玄米タンクにある時)
2. 白米出口に適当な容器を設置する。
3. 精白度ツマミ(主抵抗ハンドル)を0(スタート)の位置にする。

#### ○運転手順



#### 注意

- ・精米シャッターは、粳すり・精米同時運転スイッチを押してからすぐに引いてください。引かない場合は約10秒後に自動停止します。
- ・精白度ツマミは、ゆっくり回して下さい。
- ・初めに玄米や半搗米が出ますので、玄米タンクに戻して下さい。

#### 作業終了後

1. 精米シャッターを押す(閉める)。
2. 糠箱の後始末をする。
3. 機械を掃除する。
4. 使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

注) 糠箱は玄米20kg分の容量ですので、必ず20kg精米時及び作業終了後に糠を排出して下さい。

#### 4 精白度ツマミで白度を調節する



玄米タンクの玄米がなくなって約10秒後に自動停止します



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

### 3-4. 粳すり・精米同時運転の仕方

\*

元電源のブレーカー容量15Aに満たない場合、この方法で運転しないで下さい。

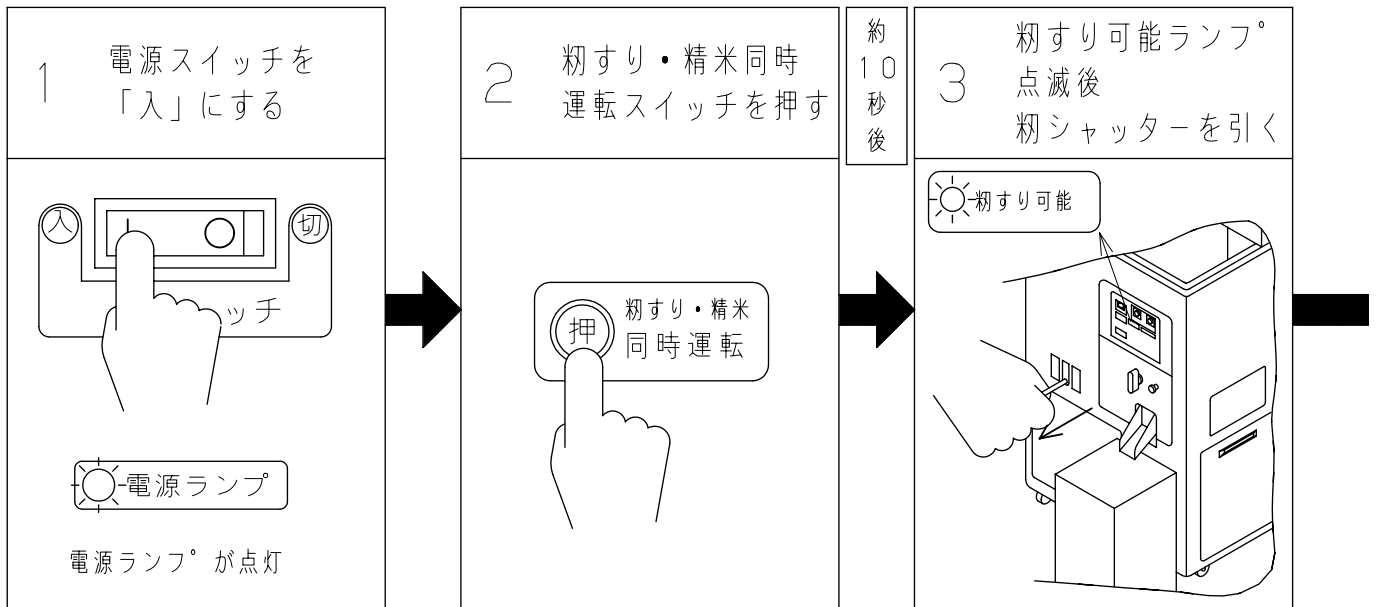
もし運転された場合、運転中に電気容量不足となり、モーターが停止し、本機内に粳、お米が詰まります。

#### ○準備

取扱説明書13頁を参考に、準備をして下さい。

#### ○運転手順

粳すり・精米同時運転スイッチを押すと、粳すり機が始動し、約15秒後に精米機が始動します。





重要

< 注意 >

粉シャッターが閉じていないと、本機は作動しません。

粉すり作業を始める場合、必ず粉すり可能ランプが点滅してから粉シャッターを引いてください。

すぐに粉シャッターを引くと粉が詰まる事があります。

粉、玄米において、下記のものは粉すり、精米を行わないで下さい。

わらくずの多いもの。

穀象虫（こくぞうむし）が発生しているもの。

水分が17%を超えるもの、又は保冷庫から出してすぐのもの。

これらを投入すると故障の原因になります。

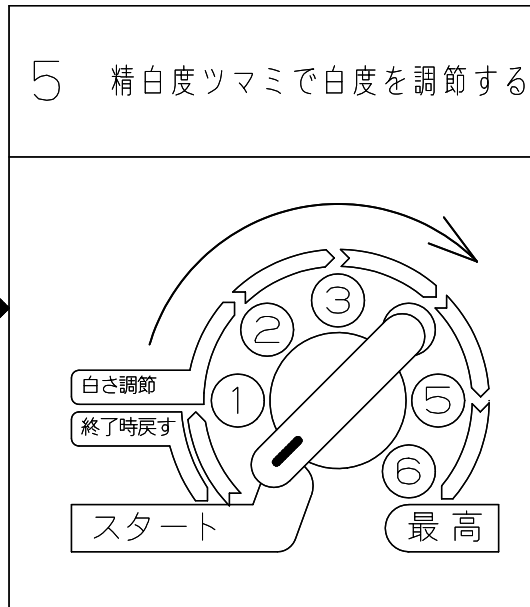
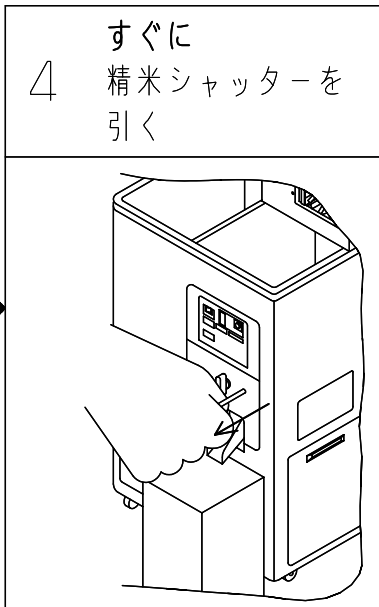
粉すり中に粉を追加する時は、センサーが粉に隠れている状態で投入してください

粉すり機が停止した状態で追加投入する場合、粉シャッターを閉じてから投入して下さい。

粉ガラ袋は、粉25kg分の容量です。

粉25kgごと、及び作業終了後には必ず粉ガラを排出して下さい。

糠箱は玄米20kgまでの容量ですので、20kg精米後及び作業終了後は必ず糠を排出して下さい。



- 精白度ツマミは、ゆっくり回して下さい。
- 初めに玄米や半搗米が出ますので、玄米タンクに戻して下さい。

精米シャッターは、粉シャッターを引いてからすぐに引いて下さい。引かない場合、精米機は精米機が始動してから約10秒後に自動停止します。

もし、精米機が自動停止した時は、もう一度、粉すり・精米同時運転スイッチを押して下さい。

粉タンクの粉がなくなって約15秒後に粉すり機が自動停止します。  
玄米タンクの玄米がなくなって約10秒後に精米機が自動停止します。



重要

作業終了後

1. 粉，精米，両シャッターを押す（閉める）。
2. 粉ガラ袋，糠箱の後始末をする。
3. 機械をきれいにする。
4. 使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業する際には身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

### 3-5. 白米を搗き直す運転の仕方 \_\_\_\_\_ \*

- ・玄米を精米する時と同じ抵抗で精米すると、砕米が多くなりますから、抵抗を弱くして下さい。
- ・白米の搗き直しは、特に抵抗を弱くして、金網内部に固着しないように特に注意して下さい。

### 3-6. 運転を一時停止する時 \_\_\_\_\_ \*

粳すり・精米切換運転と粳すり・精米同時運転で粳すり、又は精米を一時停止する場合の正しい使い方と誤った使い方について。

#### 正しい使い方

- 1 粳シャッターを押す（閉にする）。粳の供給を停止する（選別装置から出てくる米がなくなるまで確認）。
- 2 精米シャッターを押す（閉にする）。
- 3 電源スイッチ「切」を押して運転を停止する。
- 4 精白度つまみ（主抵抗ハンドル）を0にする。

#### 誤った使い方をすると

○粳シャッターを押さずに（閉めずに）、電源スイッチ「切」を押して運転を停止する。

この時、粳すり機は、脱フ°ケースの中に粳、脱フ°米、粳カ°ラが詰まります。

その後、次の運転の時再始動しても、脱フ°機内に粳が詰まっているため、過負荷異常状態となり運転不能となります。特にご注意下さい。  
(運転を再開するときは20頁を参照して下さい。)



注意： 作業を行う前には必ず取扱説明書を熟読され、本機を把握してから、取扱説明書に従って作業を行って下さい。

作業するには身の回りには充分気を配り、怪我をしないように注意して下さい。

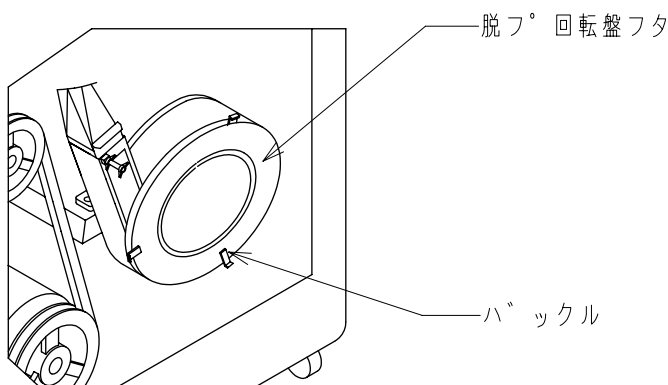
原因として下記の事項があります。

- ◎ 取扱説明書19頁に記載した、「3-6. 運転を一時停止する時」で、正しい使い方をしなかった時。
- ◎ 運転作業中に停電になった時。
- ◎ 電源コードがコンセントより抜けて運転が停止した時。
- ◎ 粉すり中に運転を中断する時、粉シャッターを閉めないで電源スイッチを「切」にして電源を遮断し、運転を停止した時。
- ◎ 精米中、精白度ツマミ（主抵抗ハンドル）を回し過ぎ、過白によりサーマルが作動したとき。
  
- ◎ 粉すり、精米中、粉すり機及び精米機に異物が入り、サーマルが作動したとき。
  
- ◎ 粉すり機（脱フ°機カバー）の脱フ°吹上げホース内部にワラクス®等が詰まっている時。
- ◎ Vベルトがゆるい為、過負荷状態となり、サーマルが作動したとき。

これらの場合、粉すり機（脱フ°機）内に粉が詰まっております。  
下記の方法で除去して下さい。

1. 粉シャッター、精米シャッターを押す（閉める）。
2. 精米機の精白度ツマミ（別称：主抵抗ハンドル）を0にする。
3. 電源スイッチを「切」にする。
4. 側板後カバーを外す。
5. 脱フ°回転盤フタを外して、内の粉を取り出して下さい。

後は元通りにして下さい。



## 4. 精米機の主要部品



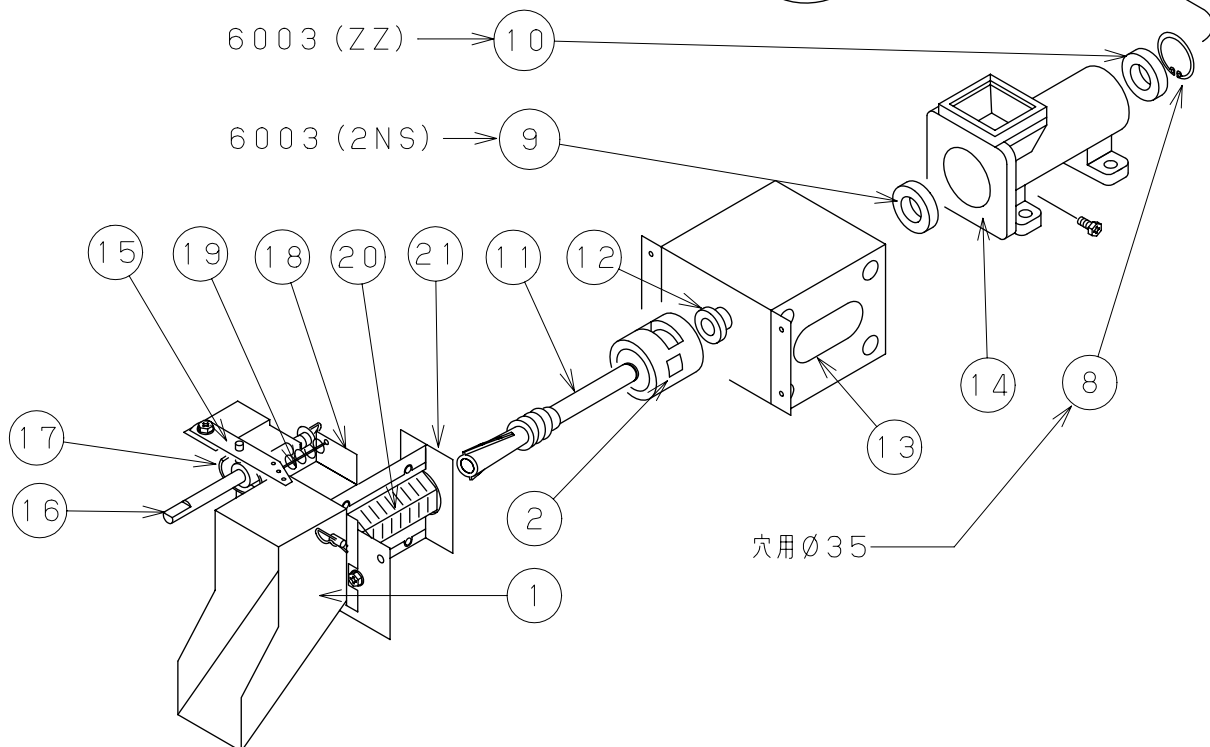
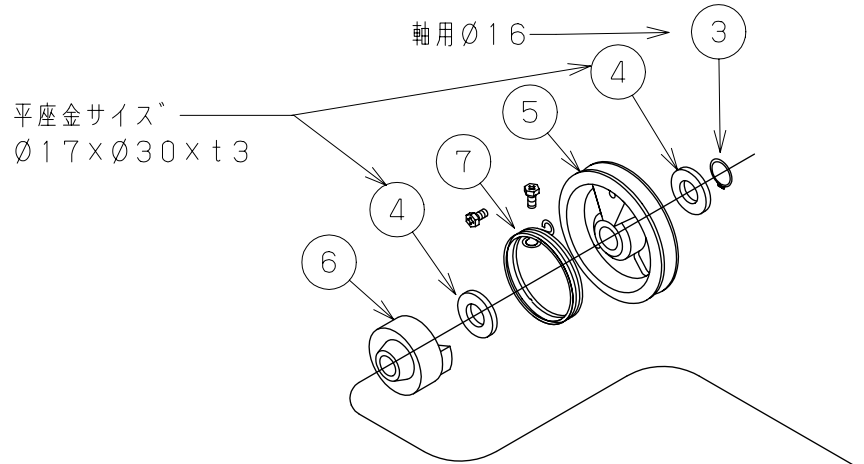
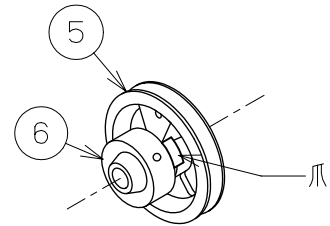
警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

### 4-1. 精米機主要部品

\*

番号	名称	15	抵抗レバー
1	万石セット	16	主抵抗調節軸
2	円筒	17	主抵抗調節カム
3	スナップリンク	18	主抵抗支杆
4	平座金	19	主抵抗スプリング
5	主プーリー	20	金網
6	動力伝達爪	21	金網枠
7	モトシハネ		
8	スナップリンク		
9	ヘアリンク		
10	ヘアリンク		
11	主軸(ロール)		
12	ロール後座金		
13	本体前部		
14	本体		

⑤と⑥は、⑥の爪が下図の位置になるように組み立てて下さい。



## 5. 各部の調整・点検・分解・掃除

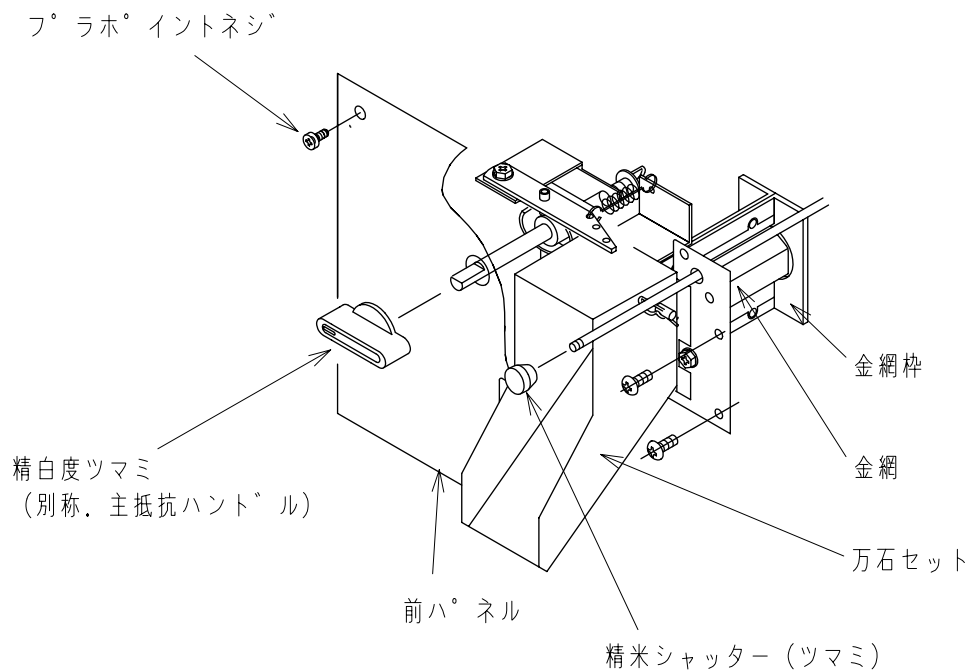


警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

### 5-1. 精米機の白度の調節

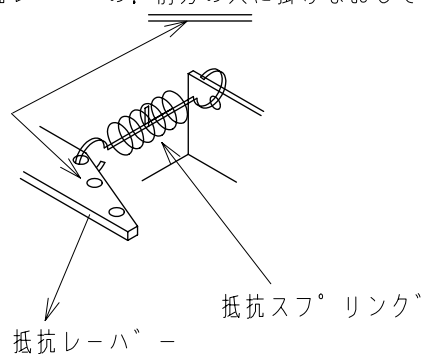
\*

- ◎ 米の白度の調節は、精米機操作部の精白度つまみ（別称・主抵抗ハンドル）の調節にて行いますが、この調節だけでの白度では十分に満足いただけない場合は、下記の方法にて白度の調節をして下さい。但し、白度をあまり上げ過ぎますと、碎米が多くなり過負荷状態となりますので、十分に注意して下さい。



下記に示す手順で作業を行って下さい。

- 1) . 精白度つまみ（別称、主抵抗ハンドル）を抜き取り次に、精米シャッター（つまみ）を外す。
- 2) . フラホイントネシ 2本を外し、前パネルを外す。
- 3) . 主抵抗スプリングを抵抗レバーより外し（ラシオペンチ等利用して）抵抗レバーの、前方の穴に掛けなおして下さい。







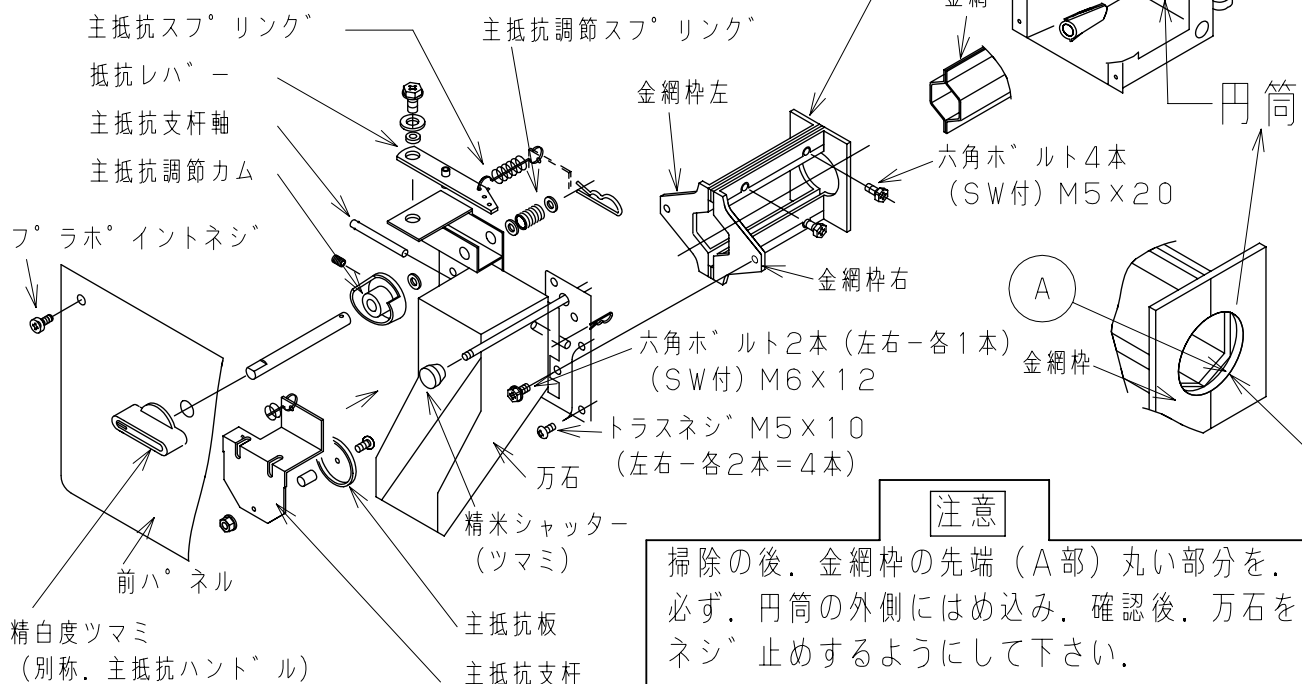
警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。



下記のように万石・金網枠・金網は分解できます。ワイヤーブラシ等で金網・万石・米出口のヌカの付着を掃除して下さい。

下記に示す手順で作業を行って下さい。

- 1) 精白度ツマミ（別称・主抵抗ハンドル）を抜き取り次に、精米シャッター（ツマミ）を外す。
- 2) プラホイントネジ2本を外し、前パネルを外す。
- 3) 万石のネジートラスネジ4本を外して下さい。
- 4) 以下、下図を参考にして作業をして下さい。



注意

金網枠を組み直す時はナットが溶接してある側を左側とする。

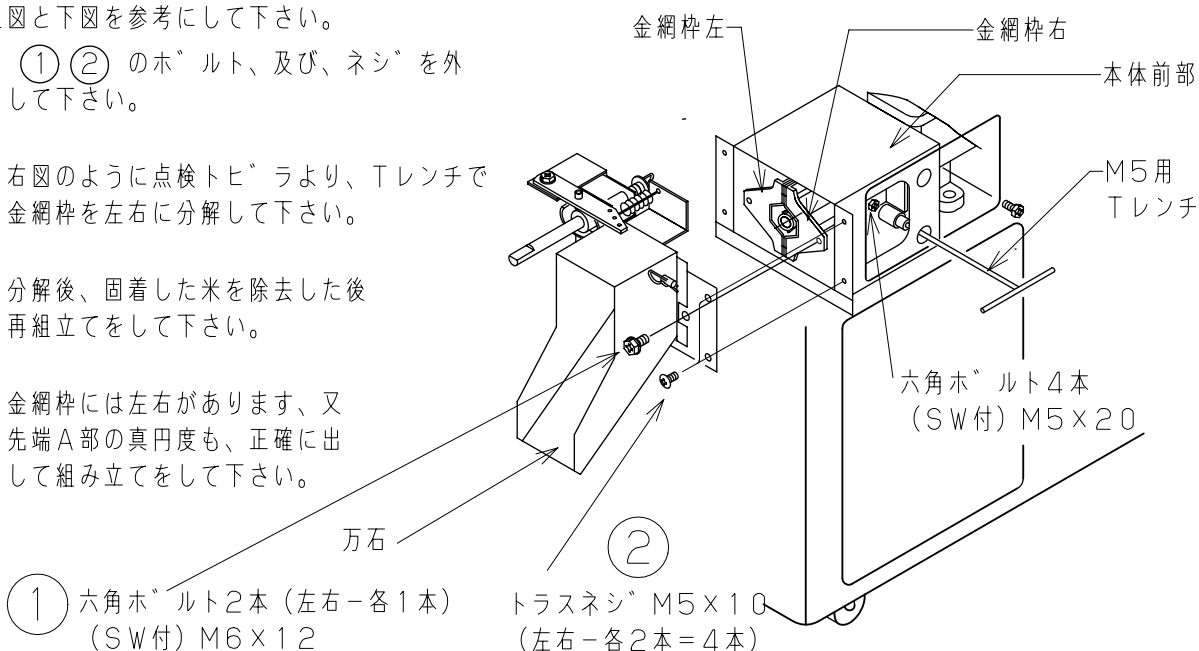
注意

掃除の後、金網枠の先端（A部）丸い部分を、必ず、円筒の外側にはめ込み、確認後、万石をネジ止めするようにして下さい。

金網内部で米が固着した場合の金網の外し方

◎ 上図と下図を参考にして下さい。

- 1) ①②のボルト、及び、ネジを外して下さい。
- 2) 右図のように点検トビラより、Tレンチで金網枠を左右に分解して下さい。
- 3) 分解後、固着した米を除去した後再組立てをして下さい。
- 4) 金網枠には左右があります、又先端A部の真円度も、正確に出して組み立てをして下さい。



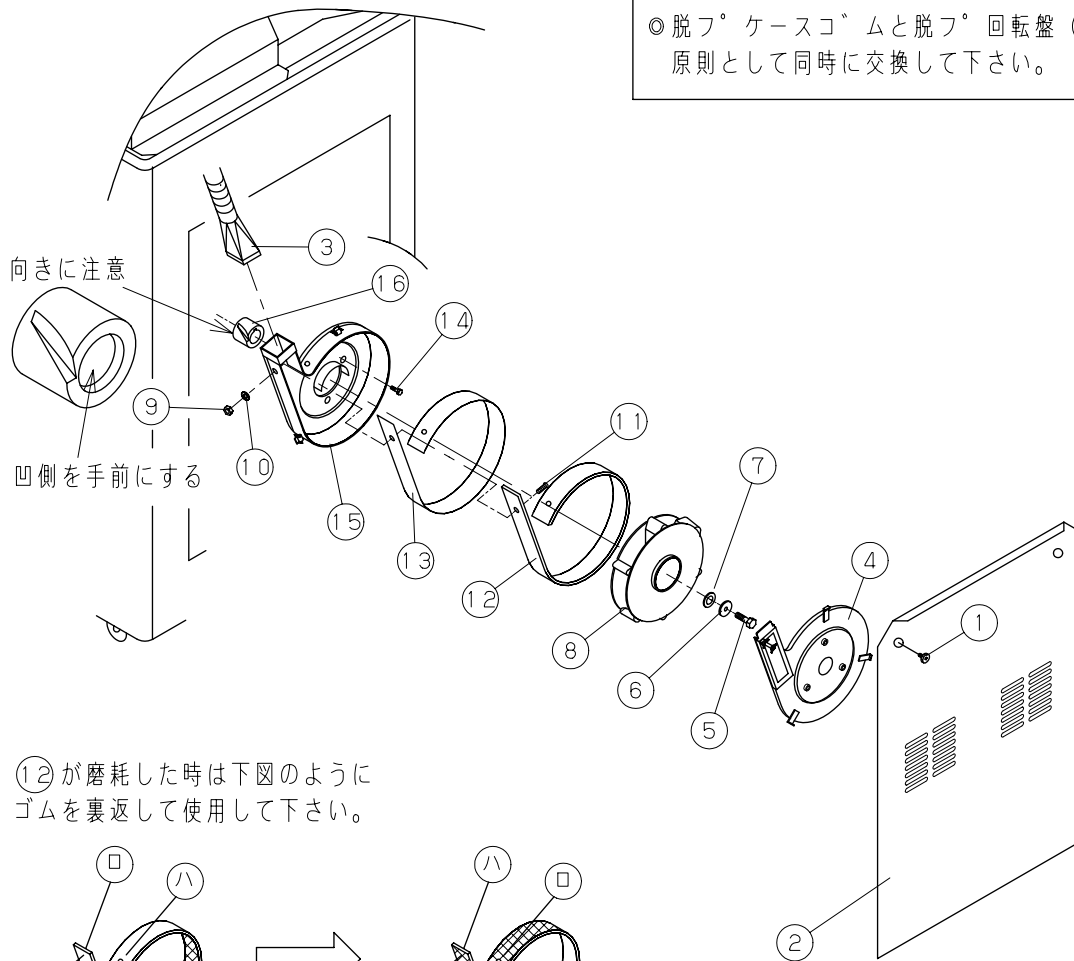


警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源フ° ラク° を抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

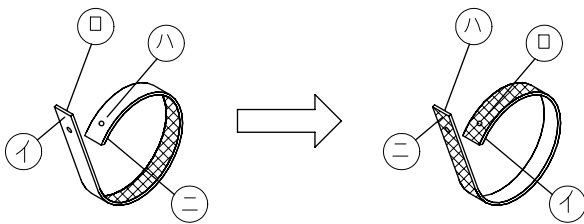
◎番号順に分解をして下さい。

(注) ⑧・⑫は消耗部品です。  
磨耗程度を調べ、使用に耐えないような状態  
であれば、交換して下さい。

◎脱フ° ケースコ`ムと脱フ° 回転盤 (セット) は  
原則として同時に交換して下さい。



⑫が磨耗した時は下図のように  
ゴムを裏返して使用して下さい。



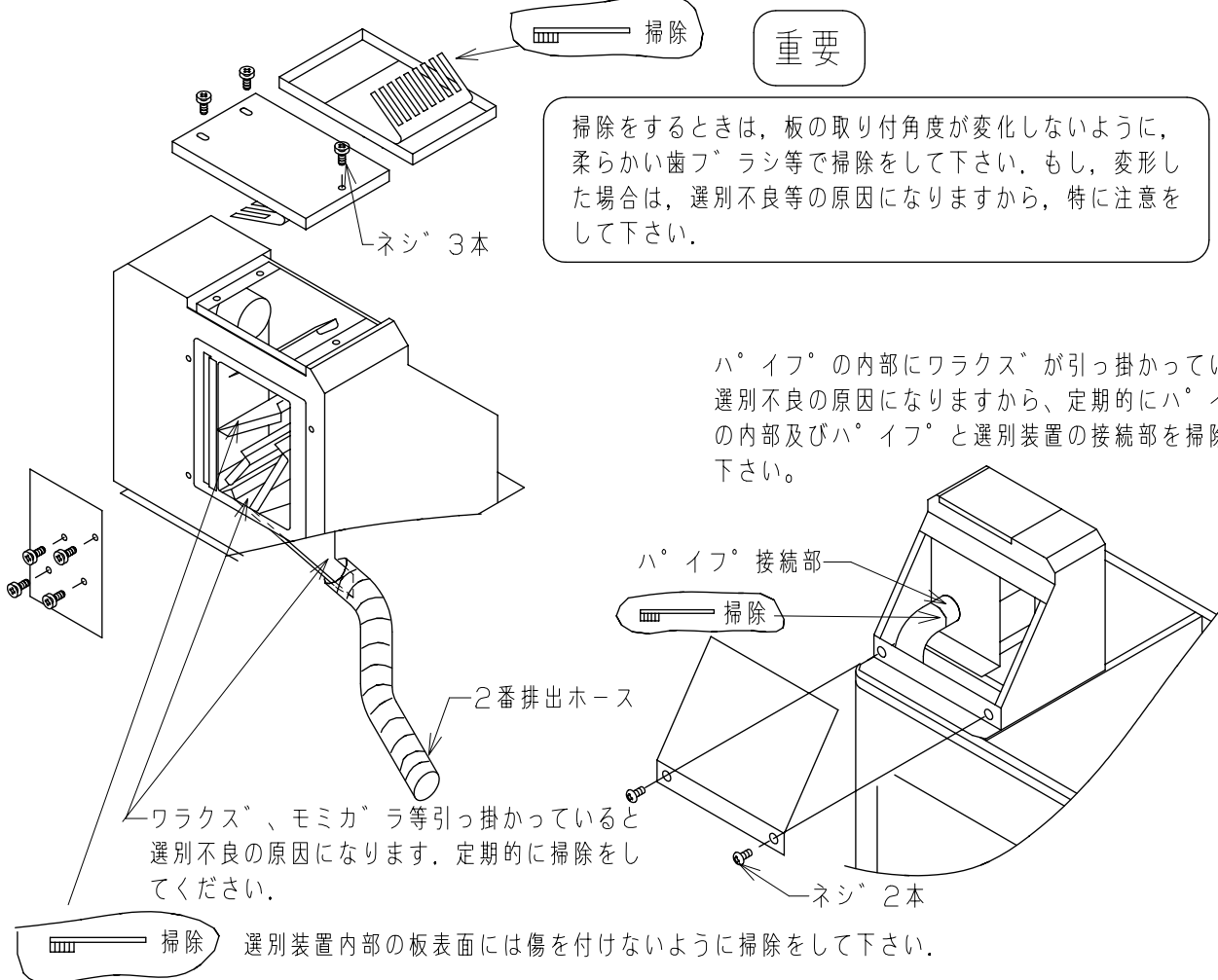
番号	名 称	番号	名 称
1	M5フ° ラホ° イントネシ`	11	M5皿小ネシ`
2	側板後カハ`	12	脱フ° ケースコ`ム
3	脱フ° 吹上筒	13	補助ライナー
4	脱フ° 回転盤フタ	14	M6ホ`ルト
5	M8ホ`ルト	15	脱フ° 回転盤ケース
6	平座金	16	脱フ° 機スクリユー
7	平座金	17	
8	脱フ° 回転盤 (セット)	18	
9	M5ナイロンナット	19	
10	平座金	20	



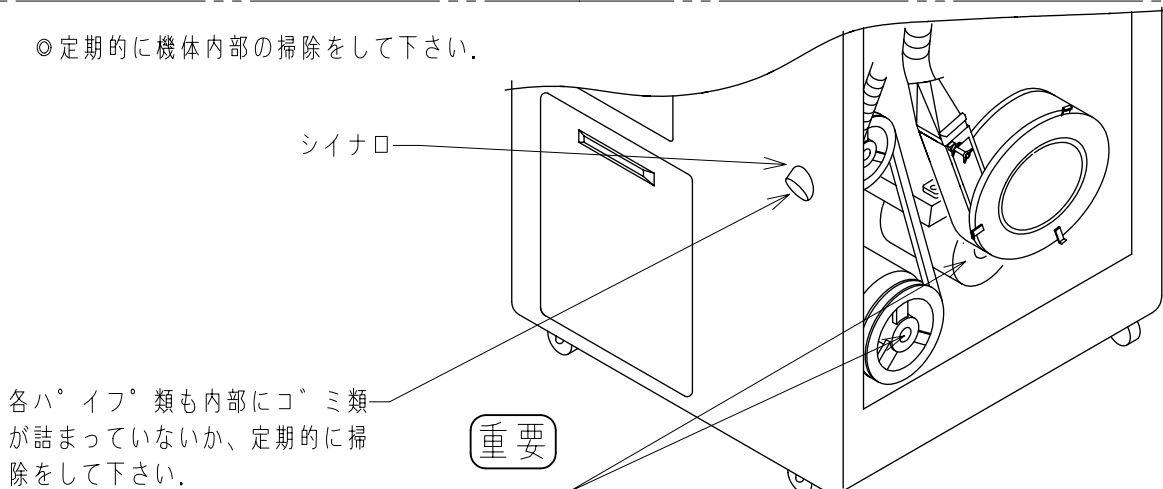
**警告：** 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

◎定期的に選別装置内の掃除をして下さい。

歯ブラシ等のやわらかいブラシを使用する。



◎定期的に機体内部の掃除をして下さい。



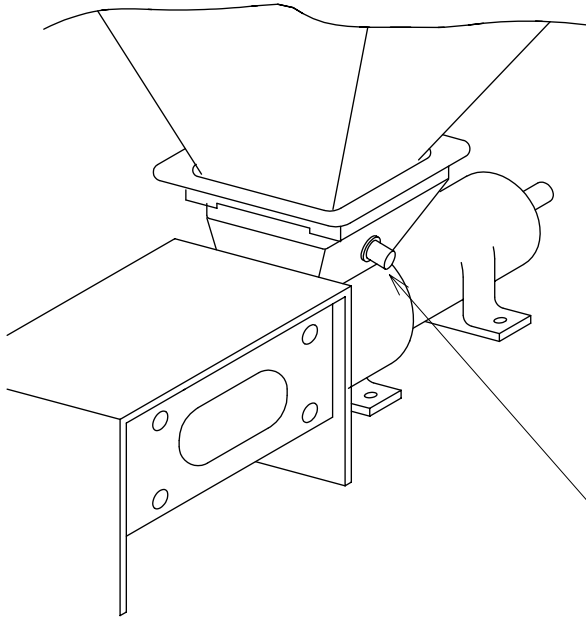
各ハーフ類も内部にゴミ類が詰まっていないか、定期的に掃除をして下さい。

**重要**  
特にモーターに付着するホコリは、定期的にきれいにして下さい。モーター内部にホコリが侵入し、モーター内部にあるカハナスイッチの接点にホコリが付着した場合、始動不能の原因になります。特にモーター周辺部はきれいにして下さい。



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

◎定期的にセンサーの掃除をして下さい。



重要

精米機本体にあるセンサーの表面に糠等が付いた場合はやわらかい布でふき取って下さい。ドライバ等を入れて掃除しないで下さい。表面に傷を付けると、誤動作の原因になります。

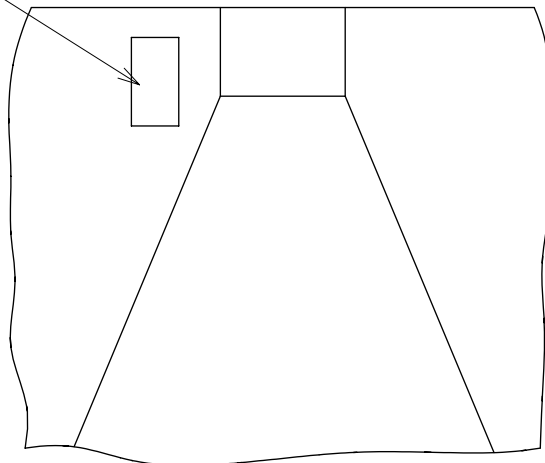
精米機側センサー

粉タンク上面より見たセンサー部

粉すり機側のセンサー

重要

粉タンク下部にあるセンサーの表面にほこり等が付いた場合はやわらかい布でふき取って下さい。表面に傷を付けると、誤動作の原因になります。



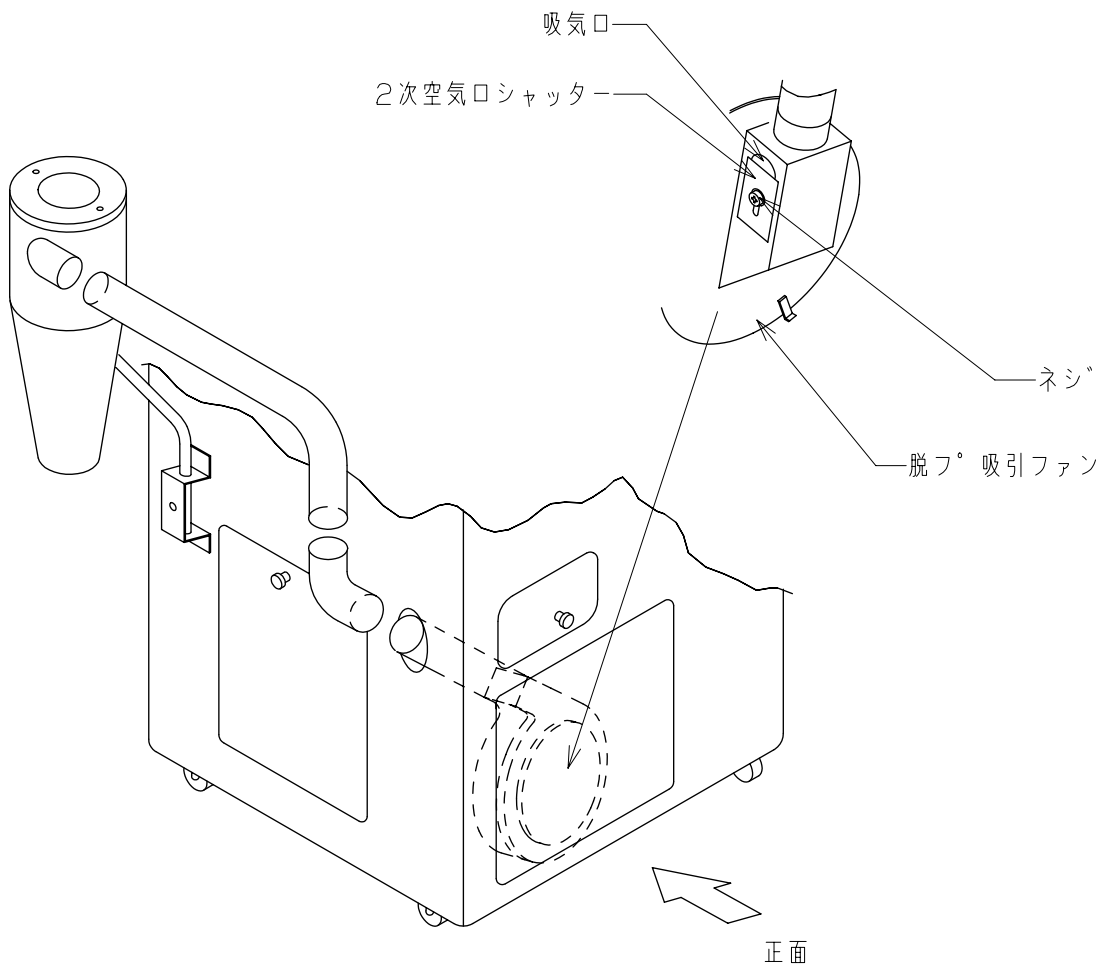


警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

### 脱粉吸引ファンの風力調節

粉の品種、作柄等により、選別の具合が変化します。下図のように、脱粉吸引ファンの2次空気口シャッターのネジを緩め吸気口の開度を、調節して下さい。

- ◎ シイナロに玄米が多く出る場合は、吸気口を大きくしてください。
- ◎ 選別米中にモミカスカが多くなった場合は、吸気口を小さくして下さい。





警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

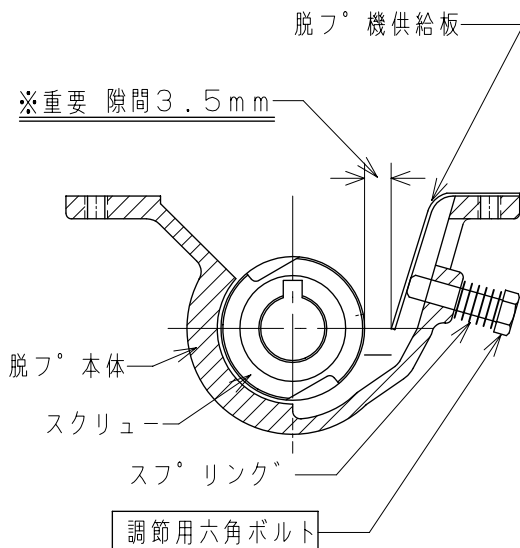
### 粗すりの供給量の調節について

粉の水分や稲ワラが多い場合、モータに負荷がかかるため粉の供給量を調節して下さい。

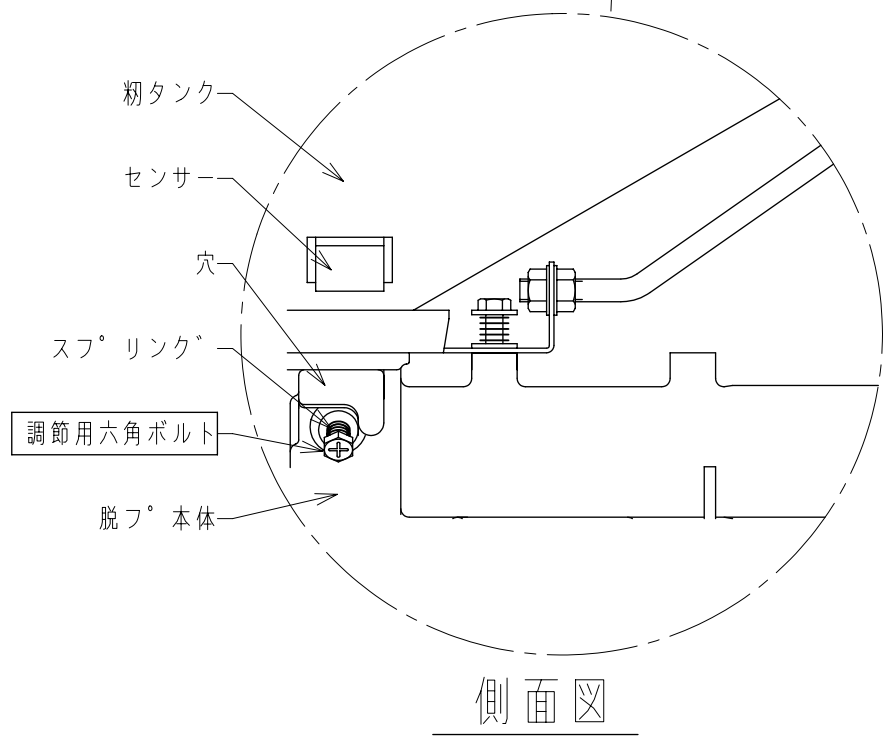
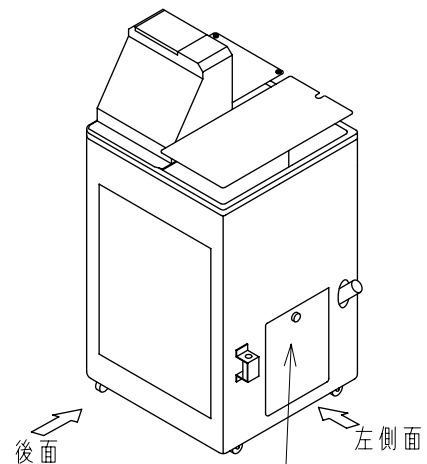
基本は粉を十分に乾燥（15%程度）し、  
枝梗・異物を取り除いた粉を入れて下さい。

- ・正面から見て左側の点検トビラを開いてください。
- ・側面からのぞくと粗すり本体が見えるので、本体に取り付いている調節用六角ボルトで調節を行ってください。
- ・調節用六角ボルトを右に回すと脱臼機供給板が押され、供給量を少なくすることが出来ます。  
また調節用六角ボルトを左に回すと脱臼機供給板が引かれ、供給量を多くすることが出来ます。  
(供給口の隙間の測定方法は目安としてドリルのキリなどを差し込んで測定すると分かりやすいです。)

※工場出荷時は3.5mmの隙間です。



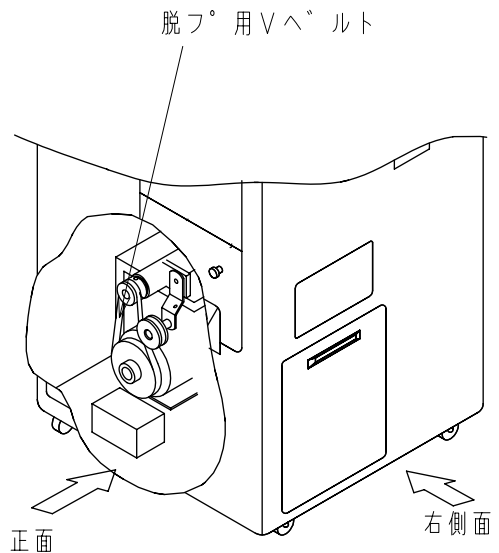
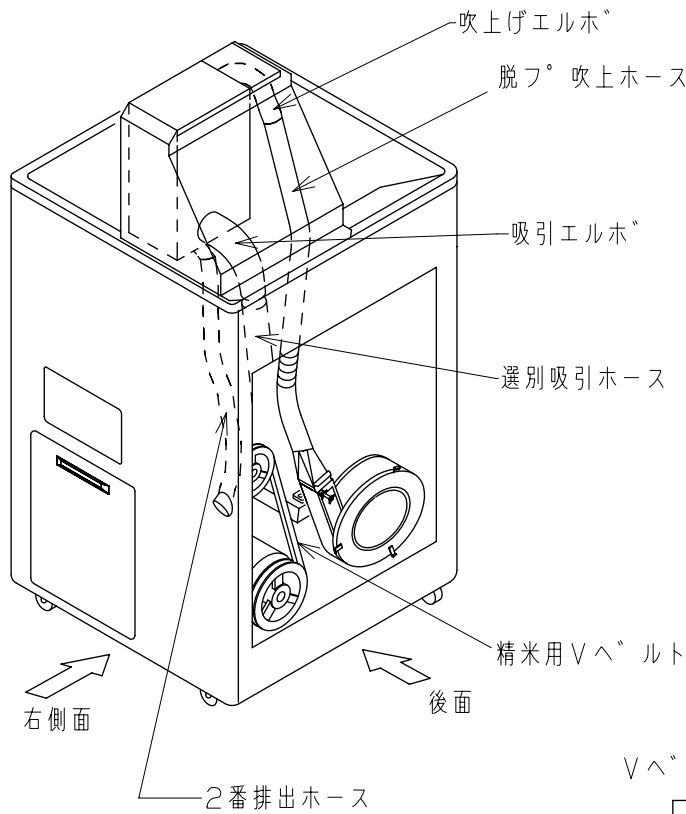
断面図



側面図

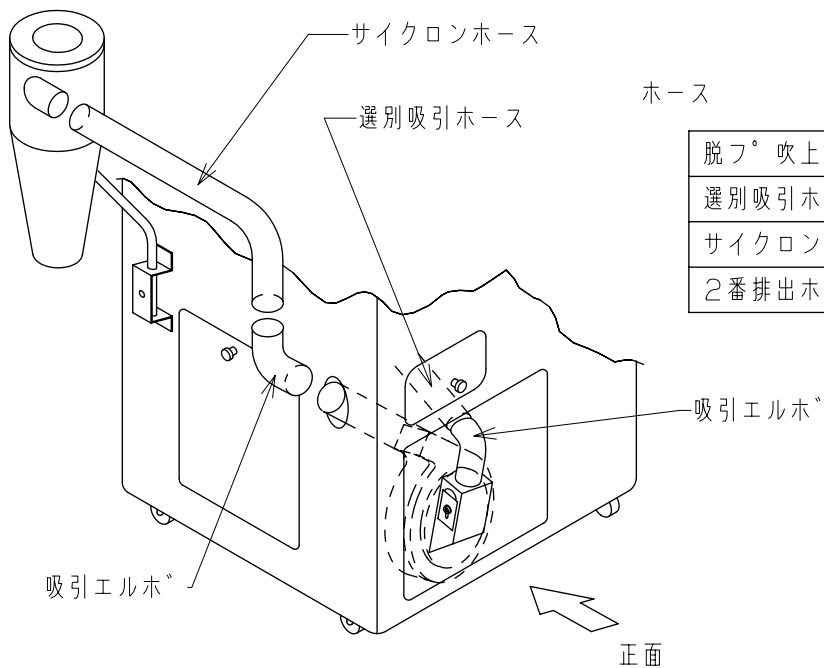
5-7. Vベルトとホースのサイズについて ※

**警告：** 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。



Vベルト

精米用	A-39"
脱フ°用	M-24" (レット)

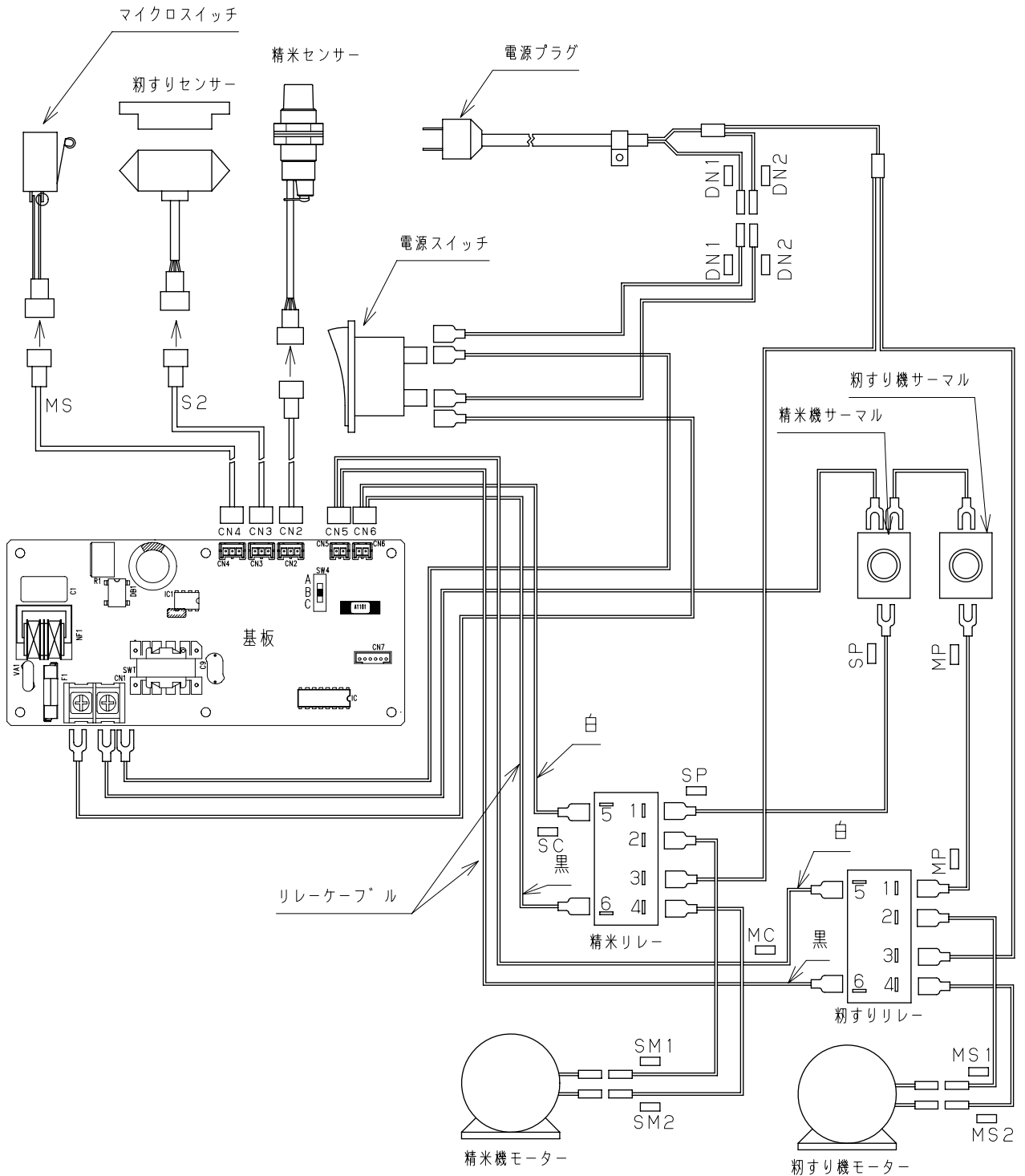


ホース

脱フ°吹上ホース	厚肉	Ø38×Ø44×615L
選別吸引ホース	厚肉	Ø50×700L
サイクロンホース	厚肉	Ø50×700L
2番排出ホース	薄肉	Ø32×415L



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。





## 6. 不調なときの原因と対策

### 6-1. 不調なときの原因と対策一覧

\*



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

状 態	原 因	対 策
運転スイッチを押しても精米機・粳すり機が作動しない。	電源が入っていない。 粳シャッターが閉まっていない。	電源及び配線を確認して下さい。 粳シャッターを閉めて下さい。
運転スイッチを押しても精米機が作動しない。	サーマルが作動している。	サーマルリセットボタンを押し、原因を取り除く。
粳すり・精米切換運転、 粳すり・精米同時運転スイッチを押しても粳すり機が作動しない。	サーマルが作動している。	サーマルリセットボタンを押し、原因を取り除く。
自動停止しない。	センサー部に糠などが付着している。	センサーを掃除して下さい。
運転中に粳すり機・精米機が停止する。	停電。	元の電源を調査する。
	電源プラグがコンセントから抜けている。	コンセントを差し込む。
	コードの断線。	コードを修理する。
	粳すり機（脱ぶ機）につまって、粳すりサーマルが作動している。	サーマルリセットボタンを押し、脱ぶ機カバー内の粳を出す。 （20頁参照）
	精米白度を上げ過ぎてサーマルが作動している。	精米白度を下げる。 （サーマルをリセットする。）
	使用電源のフ゛レーカー容量が15A以下の所で粳すり・精米同時運転をしている。	粳すり・精米単独切換運転にする。 （13頁参照）
精米中、玄米タンクに玄米があるにもかかわらず精米機が停止する。	精米センサーのコネクターが外れている。	コネクターを差し込む。
	精米センサーのケーブルが断線している。	ケーブルを修理する。
白度が上がらない。	抵抗が弱い。	抵抗を1目盛り強くする。
	精米機内に糠がつまっている。	取扱説明書通りに各部の掃除を行って下さい
糠ハケが悪い。	金網、ロールに糠が付着している。	各部を分解し掃除して下さい。
	金網、ロール等が摩耗している。	金網、ロール等を交換して下さい。
	ベルトがゆるんでいる。	各ベルトを張って下さい。
	抵抗を掛けても白度が上がらない。	抵抗レバー調整。（22頁参照）
カタカタと音がする。	フ゛ーリー類のセットホルトの緩み。	フ゛ーリーのセットホルトを締める。



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

状 態	原 因	対 策
碎米が発生する。	米の品種及び状態による場合。	抵抗を”0”に戻し、もう一度調整。
	必要以上に白度を上げ過ぎる。	抵抗を”0”に戻し、もう一度調整。
	米に胴割れが多い。	抵抗を弱くして二回搗する。
	精米機内に異物が混入している。	異物を取り除いて下さい。
むら搗になる。	主抵抗支杆、主抵抗板、万石の米排出口などに糠が付着している。	各部を掃除して付着した糠を取り除いて下さい。
粳すり時間がかかり過ぎる。	粳の中にワラクス`が多い。	ワラクス`を取り除く。
	粳の乾燥が悪い。	日に当て乾燥する。
	機械の回転が下がっている。	ベルトの張り、電圧を調査する。
	脱ぶケースゴム、脱ぶ回転盤が磨耗している。	交換をする。
玄米中に粳殻が多い。	選別装置内にワラクス`が詰まっている。	選別装置の掃除をする。(25頁参照)
粳殻中に玄米が混じる。	選別装置内にワラクス`が詰まっている。	選別装置の掃除をする。(25頁参照)
選別機内部が詰まる。	選別装置内部の板にホコリが付着している。	ホコリをやわらかい布で取る。
	選別装置内部にワラクス`が引っ掛かっている。	ワラクス`を取り除く。
	各ハ`イフ`内にワラクス`が引っ掛かっている。	ワラクス`を取り除く。
	選別装置の吸引口で選別吸引ホースが外れている。	選別吸引ホースを取り付ける。
玄米の損傷が多い。	脱ぶケースゴム、脱ぶ回転盤が磨耗している。	交換をする。
脱ぶ率が悪い。	乾燥不足になっている。	乾燥を良くする。
	未熟米が多い。	選別をする。
シイナロに良玄米が多くでる。	脱フ`機の吸引ファンが強すぎる。	脱フ`機の吸引ファンの風力を調節する。(27頁参照)
糠の中に整粒の米が出る。	金網が破けている。	交換をする。(23頁参照)
	万石セット(金網枠後部が本体前部の後方にあるはまりこみ部にはまっていない。)	本体前部に対して万石セットを入れなおす。(23頁参照)

## 7. オフ ショ ン 部 品

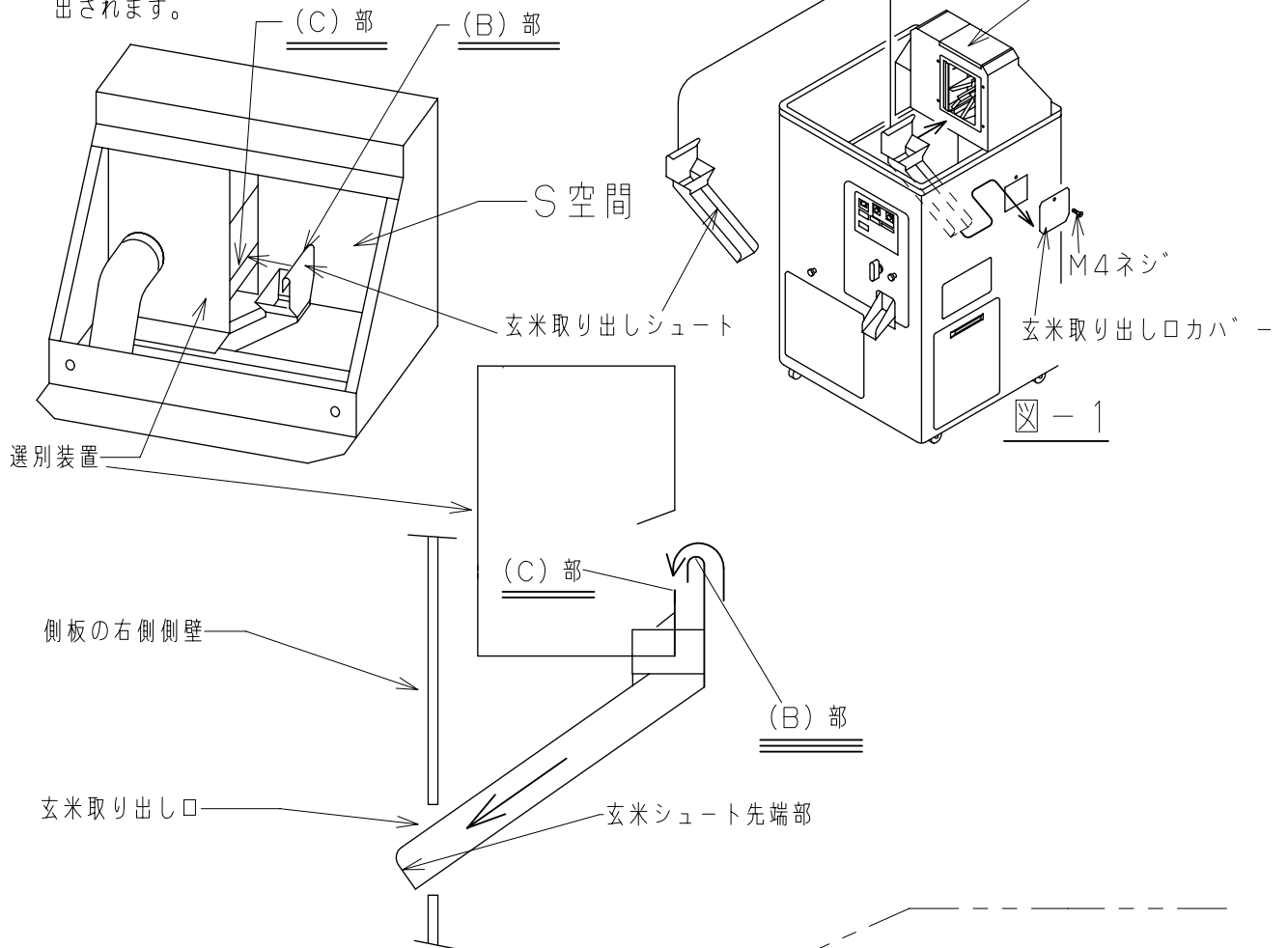


警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

### 1. 玄米取り出しシュート 別売部品

玄米取り出しシュートの取り付け方

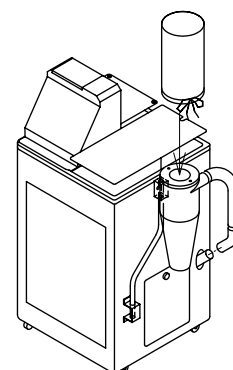
- 1, 選別ケース後フタ、及び玄米取り出しロカハバーを外す。
- 2, 玄米取り出しシュートを選別装置とほぼ平行にして、図-1の(玄米タンクの位置に)入れる。
- 3, 玄米取り出しシュートの(B)部を、選別装置の(S)空間部に一端持ち上げてから同シュート先端部を矢印のように玄米取り出し口にさしこむ。
- 4, 玄米取り出しシュートの(B)部を、選別装置の(C)部にかける。
- 5, この状態で粉すり作業をすれば、選別された玄米が機外に排出されます。



### 2. サイクロンフィルター 別売部品

オフ ショ ン 部 品 としてサイクロンフィルターがあります。この部品をサイクロンフタに被せヒモでしばって下さい。サイクロン上部より飛散する微細なホコリを捕集します。使用している場所が清潔になります。尚、ホコリは定期的に掃除して使用して下さい。

サイクロンフィルター →





警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

### 3, 稲藪・枝梗取り装置 別売部品

稲藪・枝梗取り装置は、籾の中に含まれた稲藪菌，ワラ等を取り除くための装置です。

#### 1, 稲藪・枝梗取り装置オプション部品明細

名称	サイズ	数量
・選別網		・1
・受箱		・1
・補助台		・1
・脱ぶ吹上げホース	・厚肉 $\phi 38 \times \phi 44 \times 730L$	・1
・2番排出ホース	・薄肉 $\phi 32 \times 515L$	・1
・十字穴付六角ボルト (SW付)	・M6 $\times 12$	・4
・皿ハネ付ナット	・M6	・4
・選別吸引ホース	・厚肉 $\phi 50 \times 930L$	・1

#### 2, 稲藪・枝梗取り装置の取り付け方

1. 脱ぶ吹上げホース，2番排出ホース，選別吸引ホースを外して下さい。

2. 選別装置を外して下さい。(ネジ 4本)

3. 選別装置を取り付けてあったネジで補助台を取り付けて下さい。(図1参照)

4. 補助台の上に選別装置を取り付けて下さい。(ボルト，ナット各4本)

5. 脱ぶ吹上げホース，2番排出ホース，選別吸引ホースを取り付けて下さい。

6. 受箱を取り付けて下さい。  
(35頁図2，36頁図5参照)

7. 選別網を取り付軸に掛けて，受箱で適当な傾斜角度に保持して下さい。角度は，4段階調節できます。  
(36頁図5参照)

8. この状態で籾すりすれば，受箱に稲藪菌，ワラ等が回収されます。受箱に溜まった稲藪菌，ワラ等は1回ごとに取り出して下さい。

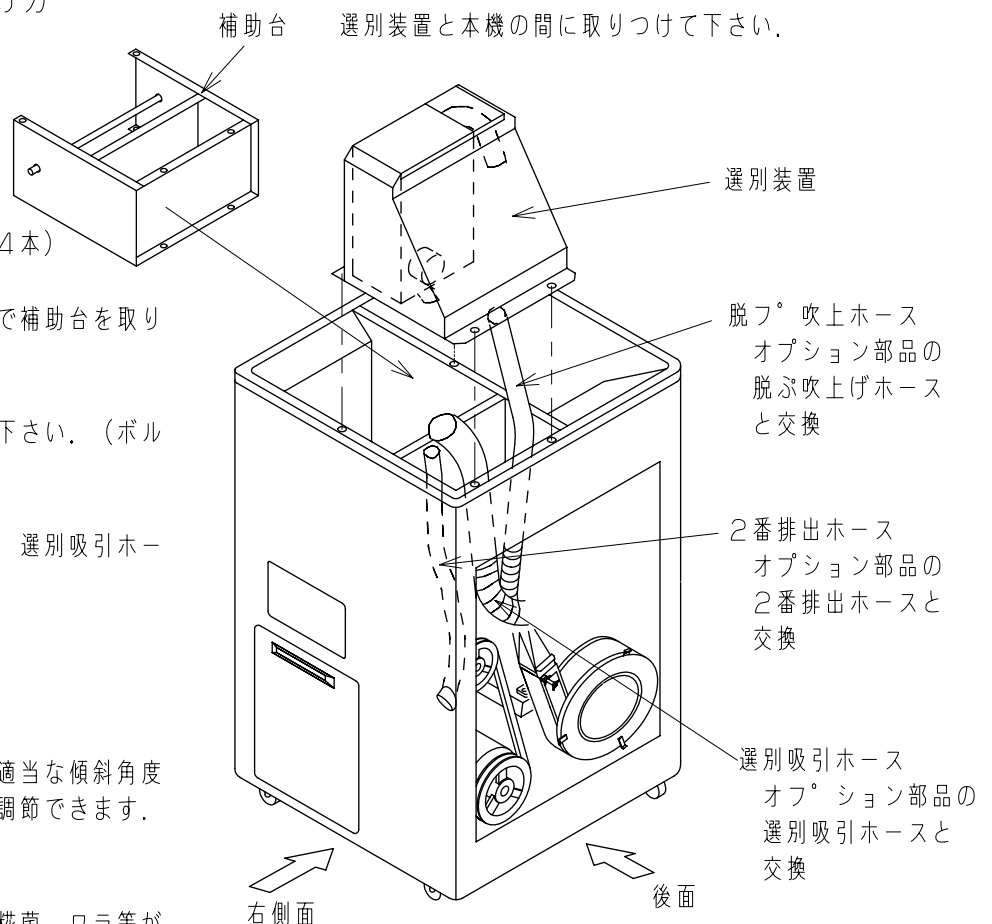


図1



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

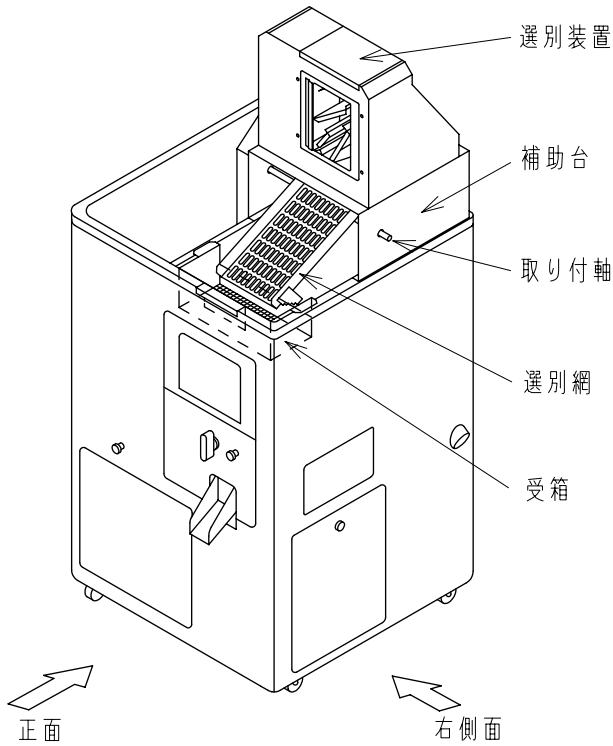


図2

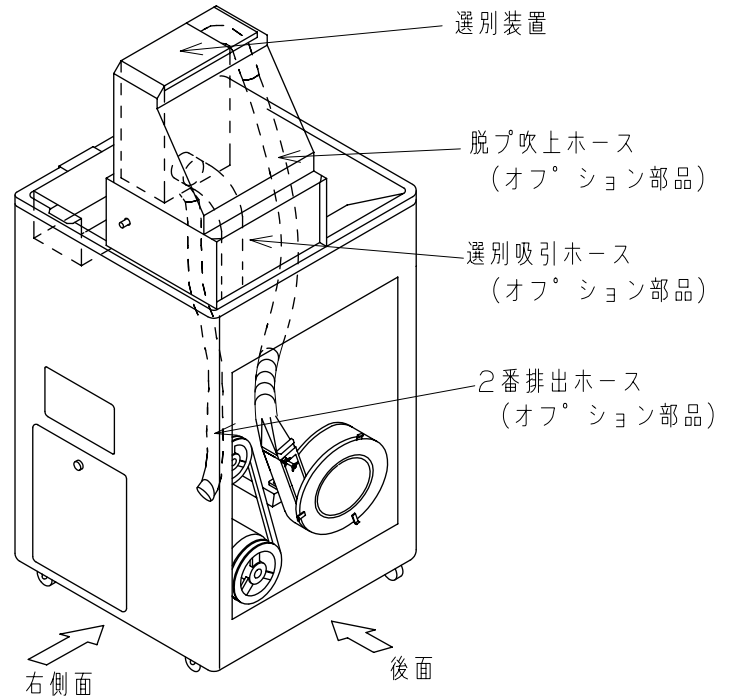


図3

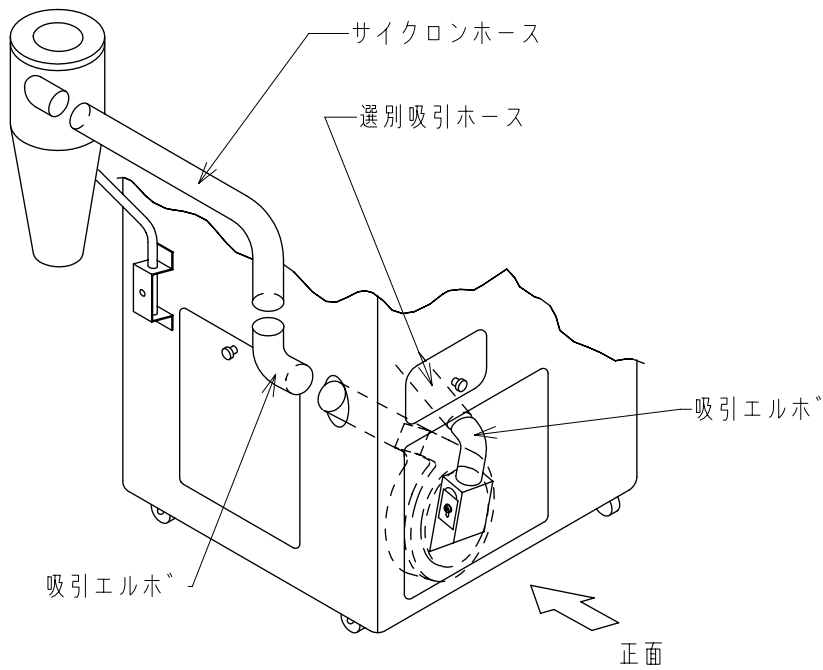


図4



警告： 点検・掃除・作業を行う場合は、必ず電源プラグを抜いて下さい。  
安全上支障をきたす場合があります。

### 3. 選別網のセットの仕方

選別網をセットする時は、最初に取り付軸に掛けてから、次に角度を調節して下さい。

1. 矢印の方向に網を取りつけて下さい。
2. 矢印の方向に網をハメ込んで下さい。
3. 網を受箱に掛けて角度を調節して下さい。

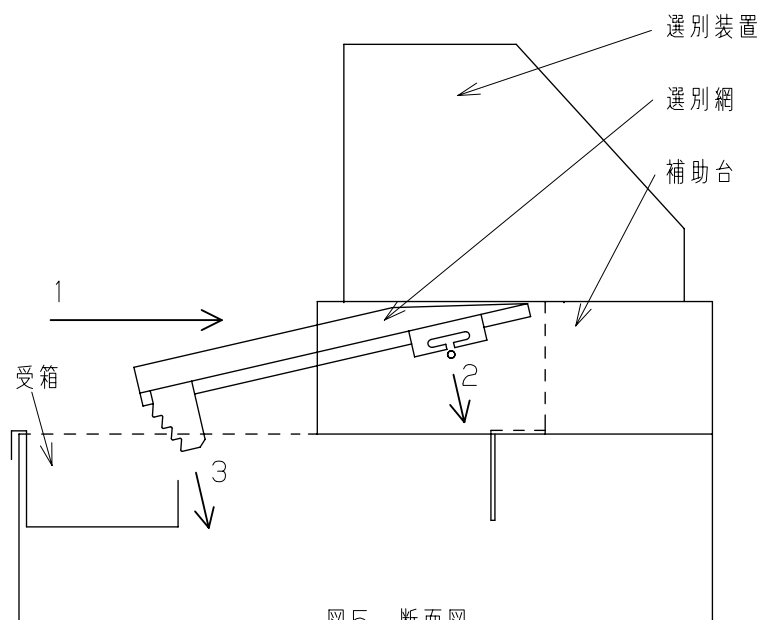



図5. 断面図

#### 注意

- 稲糶・枝梗取り装置を取りつけるときは、精米シャッターを押して（閉めて）下さい。
- 選別網の角度を調節して、1 番回収できる角度で糶すりして下さい。
- 受箱に溜まった稲糶菌、ワラ等は、1 回毎に取り出して下さい。
- 稲糶・枝梗取り装置を取りつけた状態では、玄米取り出しシュートを取りつけることはできません。

 警告

- この取扱説明書を熟読され充分理解された上で、本機の操作及び保守・点検を行って下さい。
- この取扱説明書を本機の操作及び保守・点検を行う場合にいつでも見られるように大切に保管して下さい。
- 精米機を友人等他の人に貸し出して使用される場合は、必ず本取扱説明書を機械と共に貸与して下さい。

保 証 規 定

1. 保証期間

納入日より起算して満1ヶ年といたします。  
(保証期間が過ぎると総て有償となります。)

2. 保証内容

保証期間に於いて、本機を構成する部品、材料等に、設計製作上の欠陥があらわれ、弊社がこの欠陥を認めた場合に限り、弊社特約販売店または指定サービスマン工場当該部品の取り替え、または修理を無料でいたします。

3. 適用除外

保証期間内でも、右記の場合には保証いたしません。

- (1) 使用上、並びに取扱上の不注意、過失、点検不備によって、故障が生じた場合
- (2) 弊社が規定する仕様の限度を越えて使用し故障した場合。
- (3) 弊社が認めない改造変更が原因となって故障した場合。
- (4) 弊社純正部品以外の部品使用が原因で故障した場合。
- (5) 弊社特約販売店、または弊社指定サービスマン工場以外で修理され、故障した場合。
- (6) 故障判定資料の不十分なものおよび損傷部品を紛失された場合。(故障交換部品はクレーム判定完了まで保管して下さい。)

購入年月日	平成      年      月      日
購入先 (販売店及び農協)	